

2018年9月期(第18期) 決算および会社説明資料

2018年11月16日 証券コード：3939

株式会社 **カナミックネットワーク**

- 1 会社概要
- 2 事業概要とビジネスモデル
- 3 業界動向
- 4 当社の強み
- 5 2018年9月期実績と成長戦略
- 6 事業TOPICS

1.会社概要



1-1. 会社概要

商号	株式会社 カナミックネットワーク
設立	2000年(H12)10月20日
資本金	3億2,412万円 (内資本準備金1億3,206万円)
上場取引所	東証一部市場 (証券コード: 3939)
所在地	東京本社(東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー31階) 千葉営業所(千葉県千葉市中央区富士見1-14-13千葉大栄ビル8階) 名古屋営業所(愛知県名古屋市中区栄3-8-8 名古屋平和ビル4階) 大阪営業所(大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル3階) 福岡営業所(福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル7階)
主な事業	医療・介護・子育て分野におけるクラウドサービス提供事業 医療・介護・子育て分野におけるコンテンツ広告事業
特許取得	介護支援システム及び介護支援プログラム (特許第4658225号)
受賞歴	2007年 SOHO CITY みたか ビジネスプランコンテスト2007 最優秀賞受賞 2009年 ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009 ベスト公共部門賞受賞 2010年 ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2010 特別賞受賞 2011年 ASP・SaaS・クラウドアワード2011 特別賞受賞 2012年 ASP・SaaS・クラウドアワード2012 ユーザ部門 委員会特別賞(東京大学様) 2014年 ASP・SaaS・クラウドアワード2014 ユーザ部門 総合グランプリ(楓の風様) 2016年 バイエル ライフ イノベーション アワード 2016 大賞受賞



人生を抱きしめるクラウド

子育てにはじまり、介護まで。
人の幸せを支える、クラウド技術があります。

【社名の由来】

カナミックネットワークの社名は、「介護を生き生きと活性化させるネットワークサービスを提供する」という理念から「介護（カイゴ）」と「活性化（ダイナミック）」そして「ICT（ネットワーク）」の3つのキーワードを掛け合わせて誕生しました。

【経営理念】

当社は「超高齢社会における地域包括ケアをクラウドで支える」という経営理念の基、医療・介護・健康情報等を法人・職種の枠を超えてリアルタイムに「情報共有」+「コミュニケーション」+「利活用」ができるICTプラットフォームを提供することで、患者・家族がより質の高い医療・介護サービスを受けられることを目指して事業を展開しております。

2. 事業概要とビジネスモデル



KANAMIC NETWORK

2-1. 私たちの目指すところ

医薬品

医療機器

福祉用具

食品

衣料品

建材

旅行

コンテンツ広告配信

行政・医療・介護

行政・保育・健診

医療介護連携

子育て支援



介護離職ゼロ

子育て支援

CCRC

地方創生による
地域活性化

負担軽減
社会参加促進

若者が働きやすい
まちづくり



医療・介護・子育ての「多世代包括ケア」

2-2. 医療介護クラウドサービス

2階層

情報共有システムは、**地域全体に面**で導入

※他にも多数の機能がございます

【有料対象顧客】

- ・自治体
- ・地域包括支援センター
- ・医師会
- ・中核病院
- ・在宅医

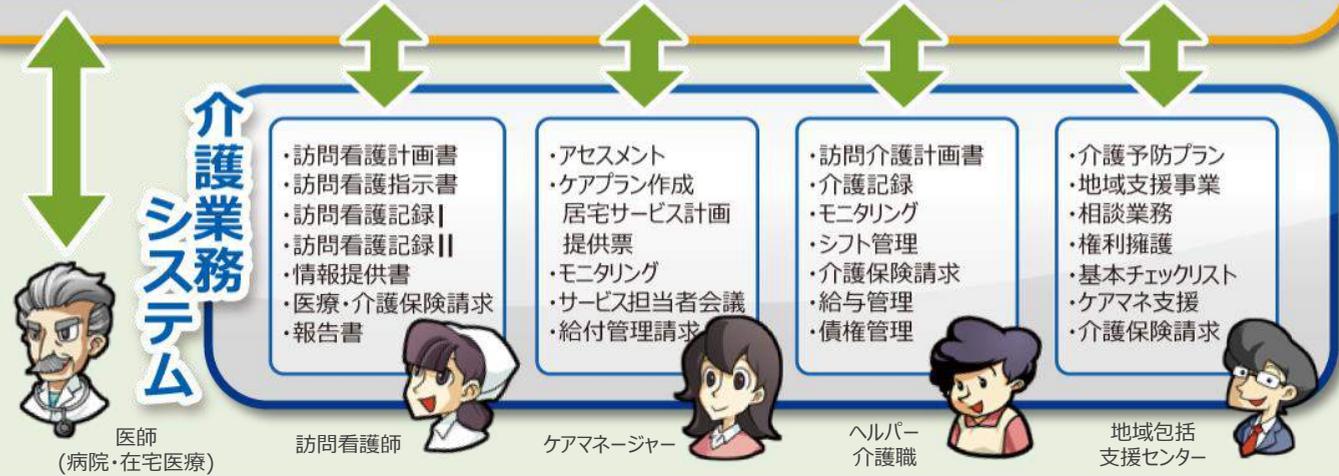
情報共有システム



【有料対象顧客】

- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネジャー
- ・介護サービス事業者

介護業務システム



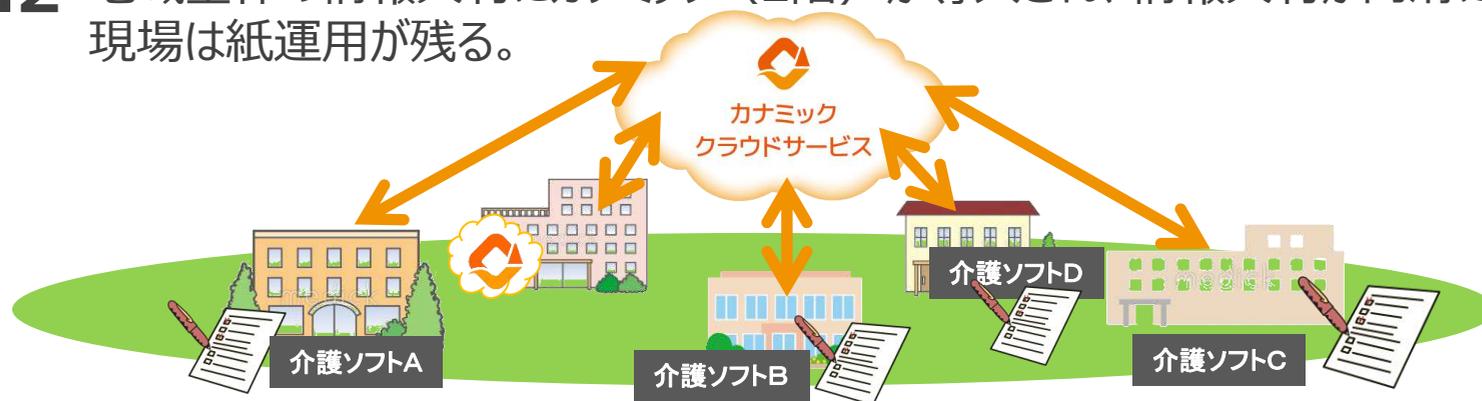
1階層

介護業務システムは、**法人・事業所ごと**に導入

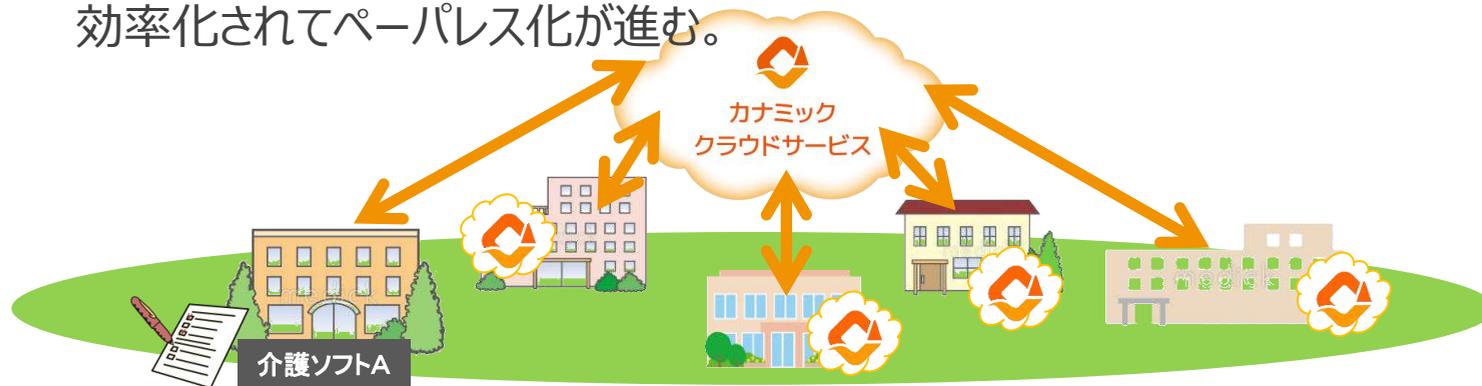
STEP.1 情報共有SYSがない状態。バラバラの介護業務システム導入はあり郵送/FAXを利用。

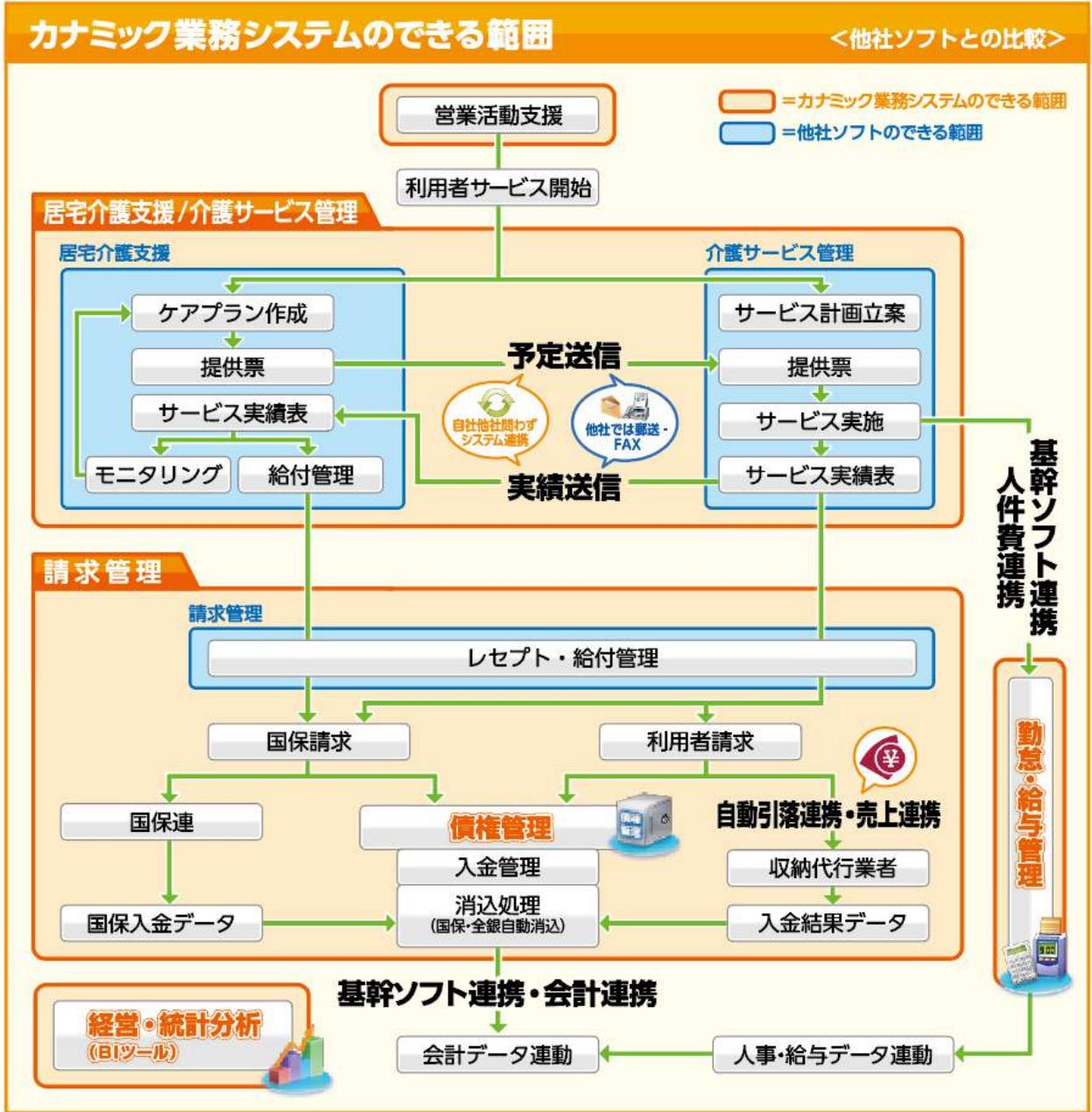


STEP.2 地域全体の情報共有にカナミック（2階）が導入され、情報共有が円滑になるが現場は紙運用が残る。

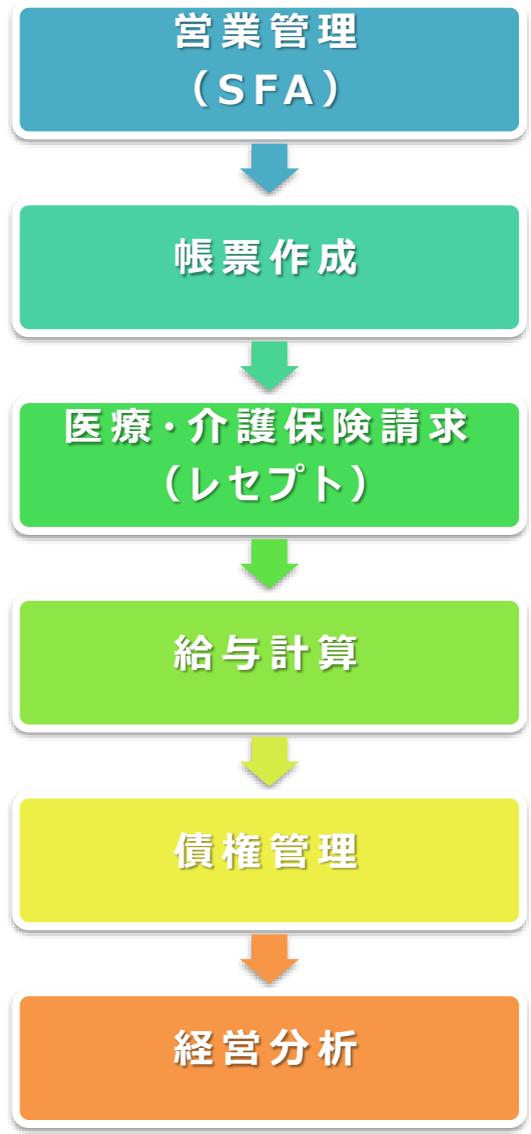


STEP.3 介護業務システム（1階）をカナミッククラウドにすると介護の現場の事務業務が効率化されてペーパーレス化が進む。





介護事業経営を支える豊富なラインナップ



2-5. 医療介護クラウドサービス: 情報共有システム

システム画面 <TOP画面>

TRITRUS ログアウト

サンプル事業所のケアマネ 花子さん こんにちは。

コミュニティ

マイページ 参加コミュニティ一覧 介護カナさんの部屋

前の画面へ戻る

介護カナさんの部屋

本人家族招待 [利用者情報の名寄せ]

この部屋の管理者

サンプル事業所 ケアマネ 花子

参加者

- サンプル事業所
 - ケアマネ 花子 主担当者
 - 栄養士 和子 副担当者
 - ヘルパー 千恵子 主担当者
 - ヘルパー 次郎 主担当者
- サンプル居宅介護支援事業
 - ケアマネ 幸子

説明・確認事項 基本情報・地図 住宅情報 家族情報 医療情報 介護情報

身体・生活 認知・精神 社会 温度板 食事・排泄 備考

上の項目をクリックして表示・非表示できます→

■ 血圧(上) ■ 血圧(下) ■ 体温 ■ 脈拍 ■ SpO2

日付	血圧(上)	血圧(下)	体温	脈拍	SpO2
12/15 0:00	142	136	37.3	99	98
12/16 0:00	153	150	37.0	99	99
12/17 0:00	144	147	37.0	100	99
12/18 0:00	138	138	37.0	99	98
12/19 0:00	153	150	37.0	99	99
12/20 0:00	144	147	37.3	99	99
12/21 0:00	142	138	37.3	98	99
12/22 0:00	153	150	37.4	98	99

過去の記録を見る

フェイスシート 新規作成 2013/02/15

サービス カレンダー 2013/02/06

おくすり手帳 2013/02/15

アセスメント (認定調査票) 2013/02/15

訪問口歴ケア チェックシート 2013/01/23

データフォルダ 2013/07/23

タイムライン

ケアレポート

新しくトピックをつくる ?

トピック	書込数(未読数)	最終更新日
利用者情報共有板	>>見る 3(未2)	2012/2/16 11:07
重要!蕎麦アレルギーについて	>>見る 3(未1)	2010/7/14 18:35

患者ごとに部屋を作成

- 自治体
- 医師会
- 中核病院
- 在宅医

2階層:管理者

管理者より招待された患者の担当関係者のみ部屋に入れる

患者状態の変化がわかる患者部屋トップ画面のタブ表示

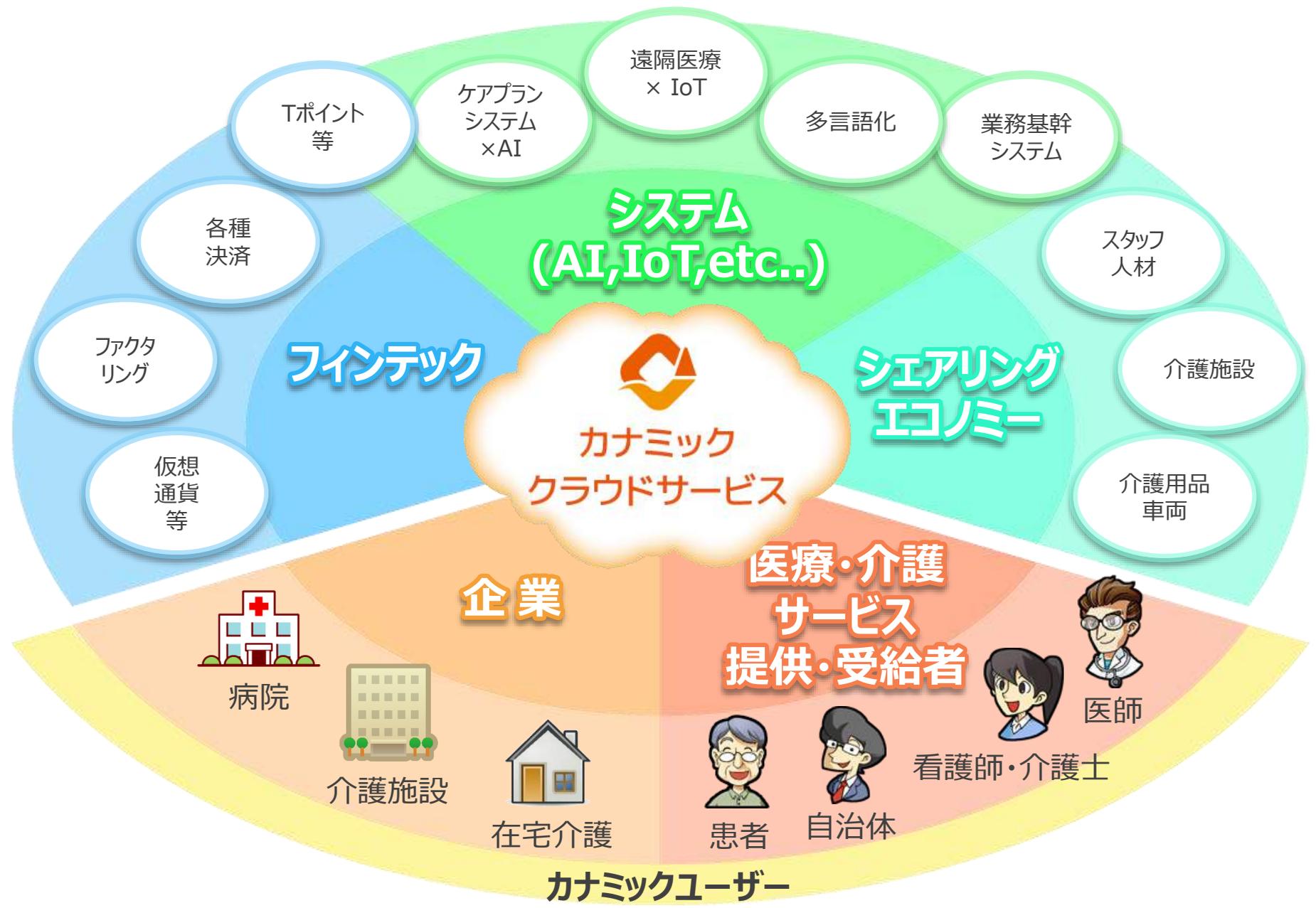
患者ごとの定型化された連携情報

- フェイスシート (連携基本情報)
- カレンダー (関係者予定)
- お薬手帳 (薬剤情報共有)

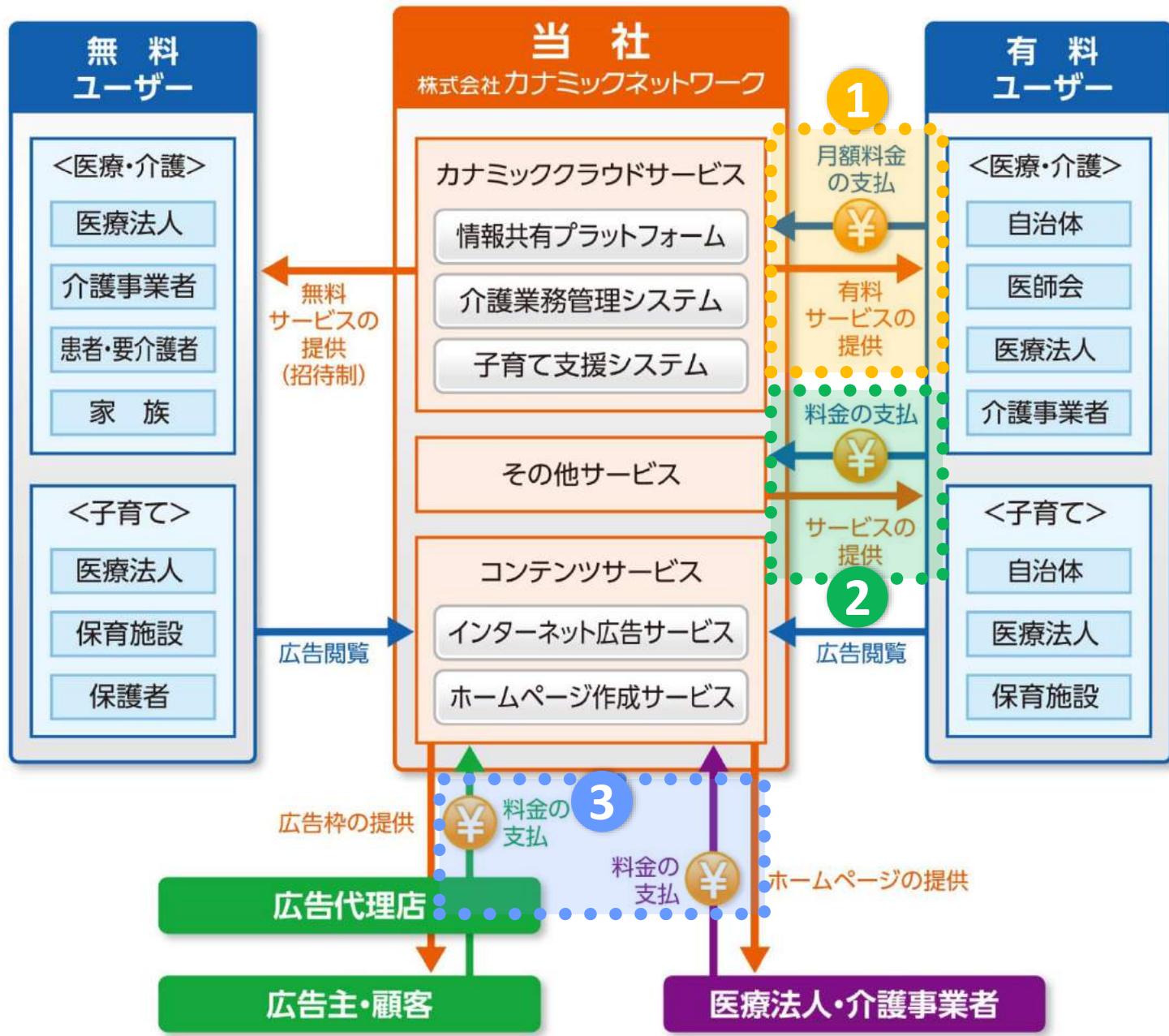
日々の変化を共有するケアレポート

- 患者情報シート
- 連絡帳
- ケアプラン
- バイタル情報
- 食事・水分、排泄
- 訪問看護指示書
- 診療情報提供書等

2-6.プラットフォーム化による収益拡大



2-7. 医療介護クラウドサービス事業系統図



単一セグメントですが各サービス毎の売上高を開示しております。

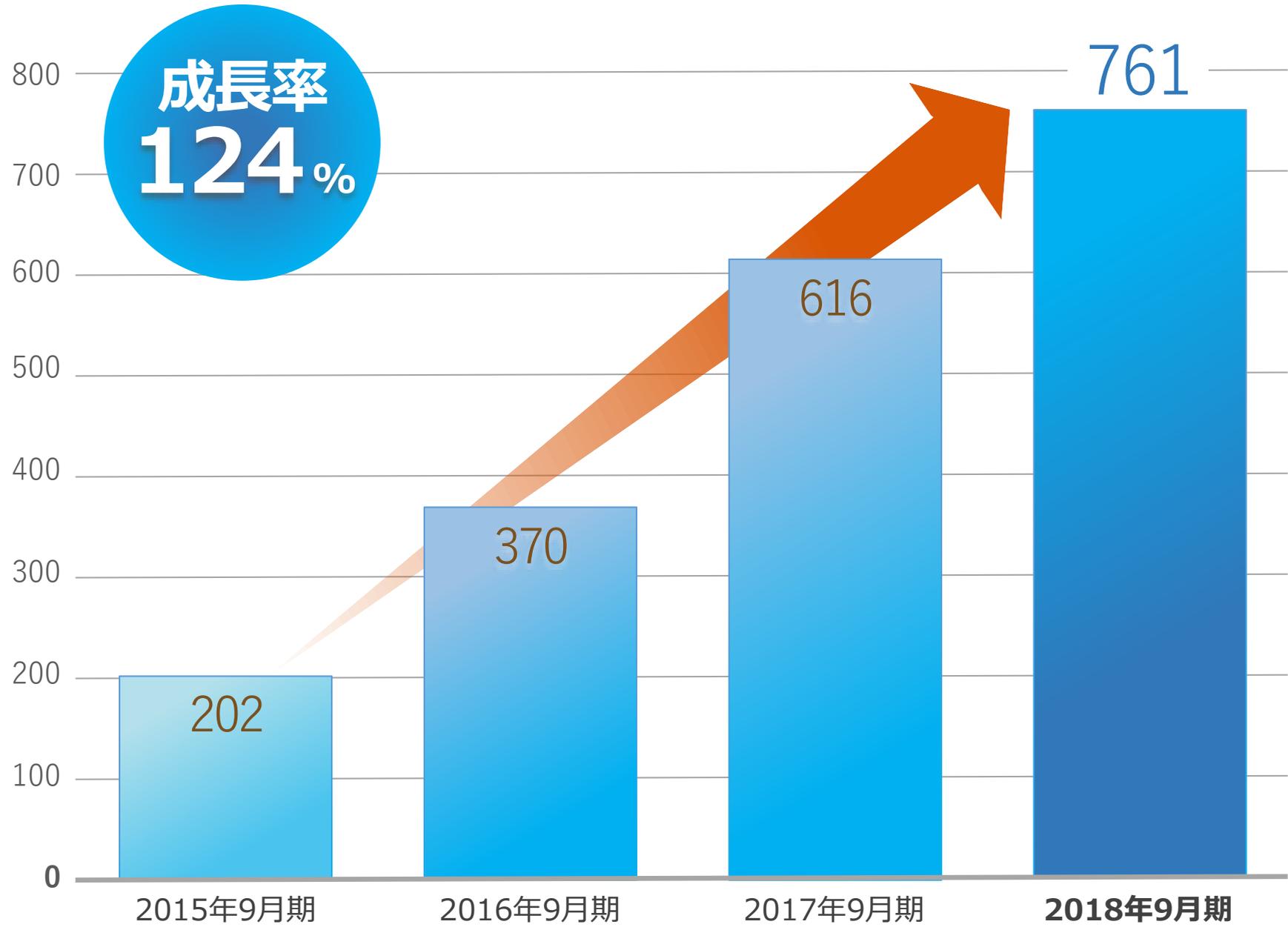
<2018年9月期>

1
カナミッククラウドサービス
売上高：1,299百万円
(売上構成比：86.3%)
(前年比：117.0%)

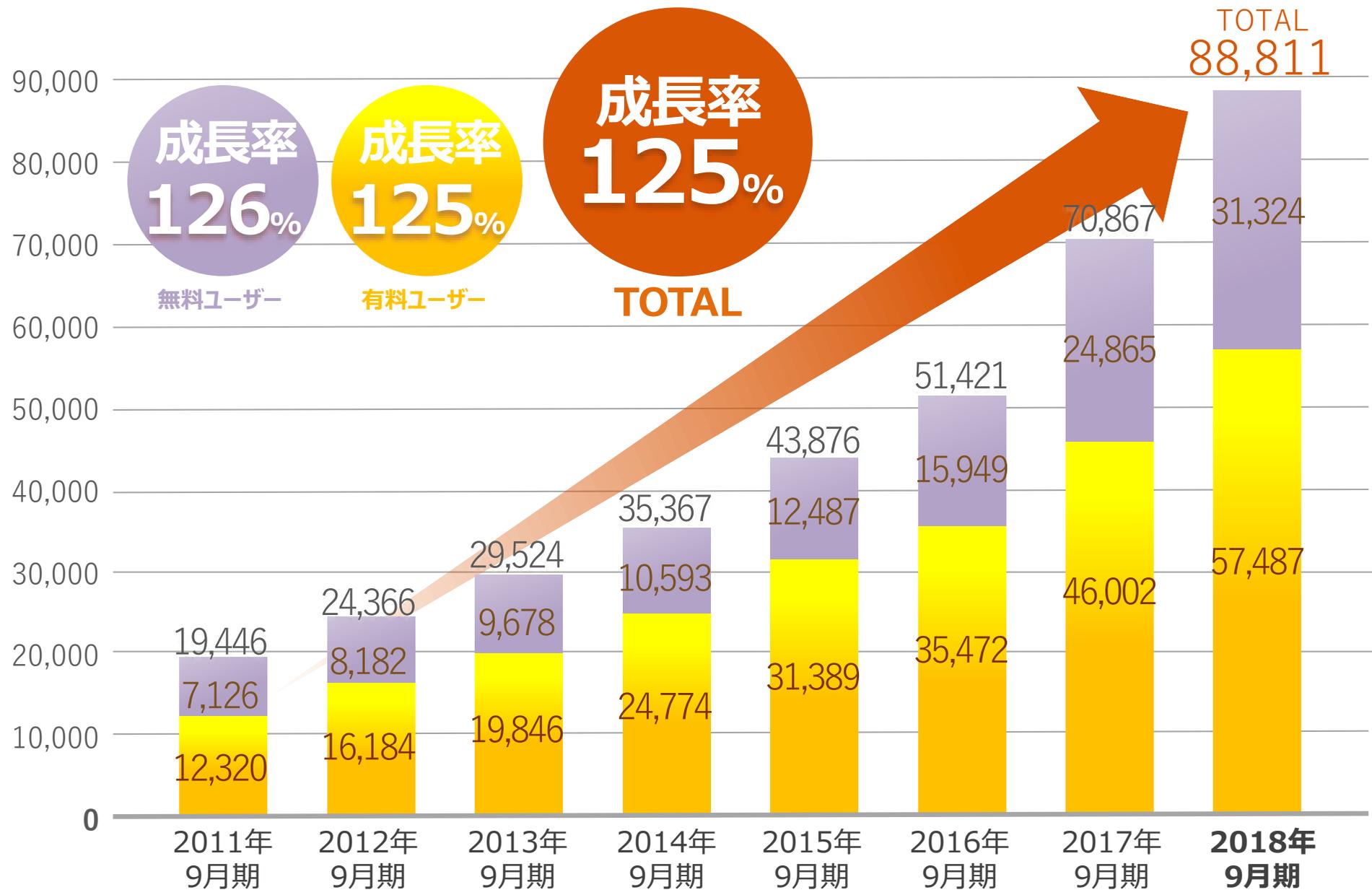
2
その他サービス
売上高：138百万円
(売上構成比：9.2%)
(前年比：112.0%)

3
コンテンツサービス
売上高：67百万円
(売上構成比：4.5%)
(前年比：116.3%)

2-8.クラウドサービス 導入地域数推移



2-9.クラウドサービス ユーザーID数推移



2-10.子育て支援システム

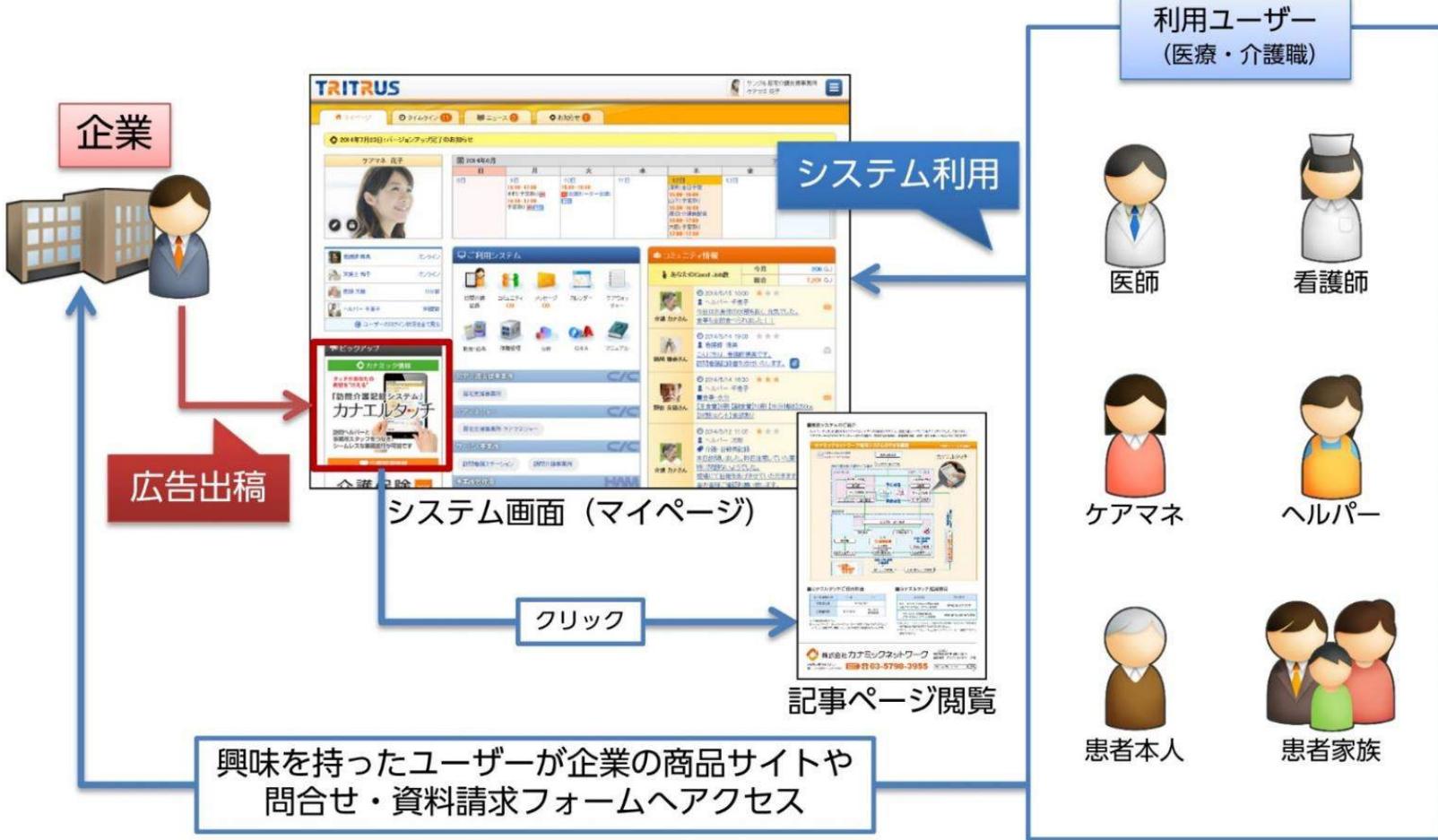
地方創生事業等にて活用

- ・自治体と母親父親を繋ぐ、ニュース配信・イベント配信機能
- ・電子母子手帳機能を拡張した、子供のブログ機能
- ・ママ友ネットワークのSNS機能など



2-11.コンテンツサービス

医療・介護の専門職向けに特化したインターネット広告配信サービス



インターネット広告

- インプレッション広告
- 記事広告
- 動画広告

ユーザー会参加

- 定期開催されているユーザー会への参加権利付与

Webアンケート

- 商品マーケティング
- 市場調査

サンプル試供品配布

- ユーザー経由で要介護者にサンプル試供品の提供

3.業界動向

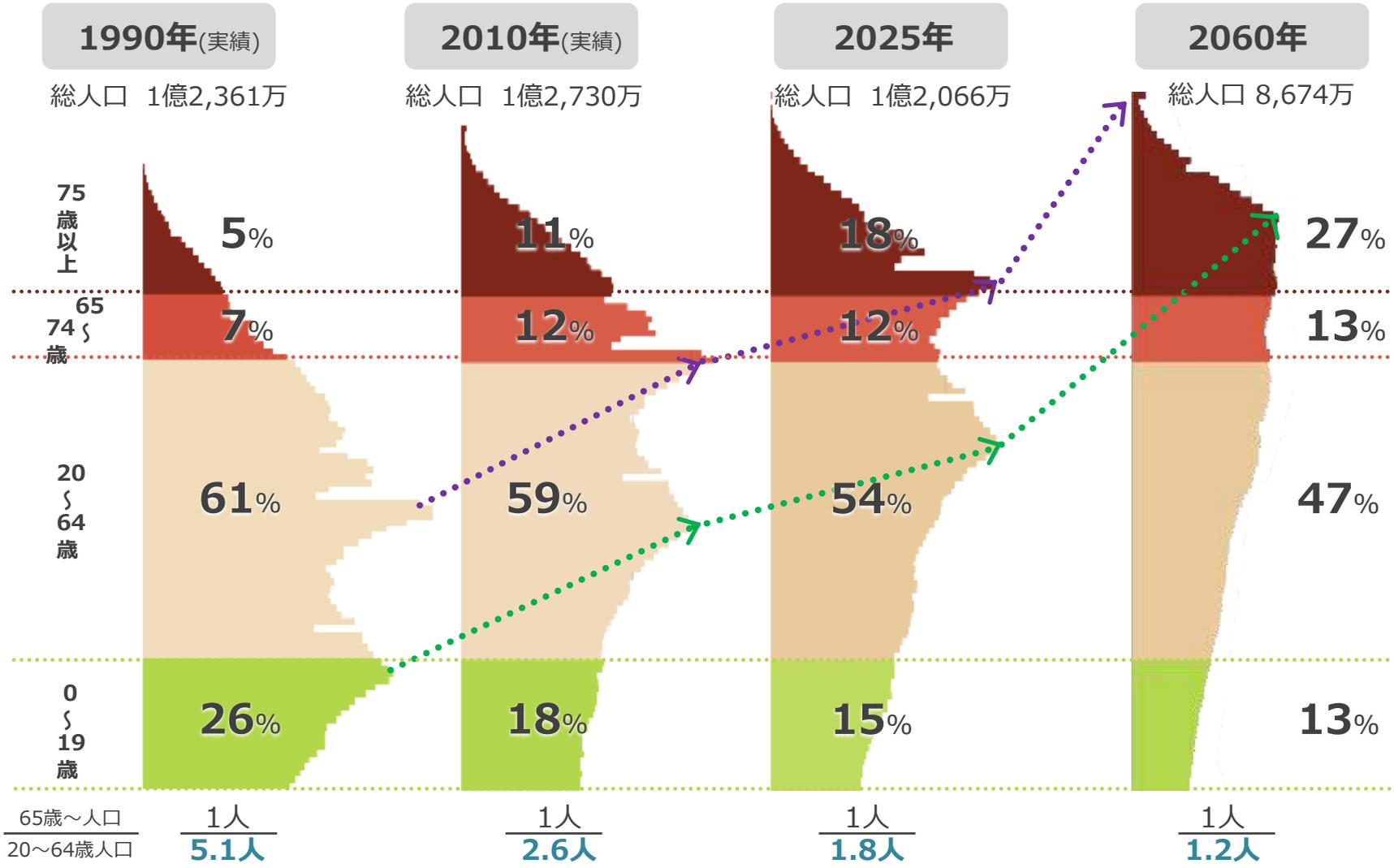


KANAMIC NETWORK

3-1. 医療・介護業界の市場規模

日本の人口ピラミッドの変化

日本の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定



出典：総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）

3-2. 医療・介護業界の市場規模

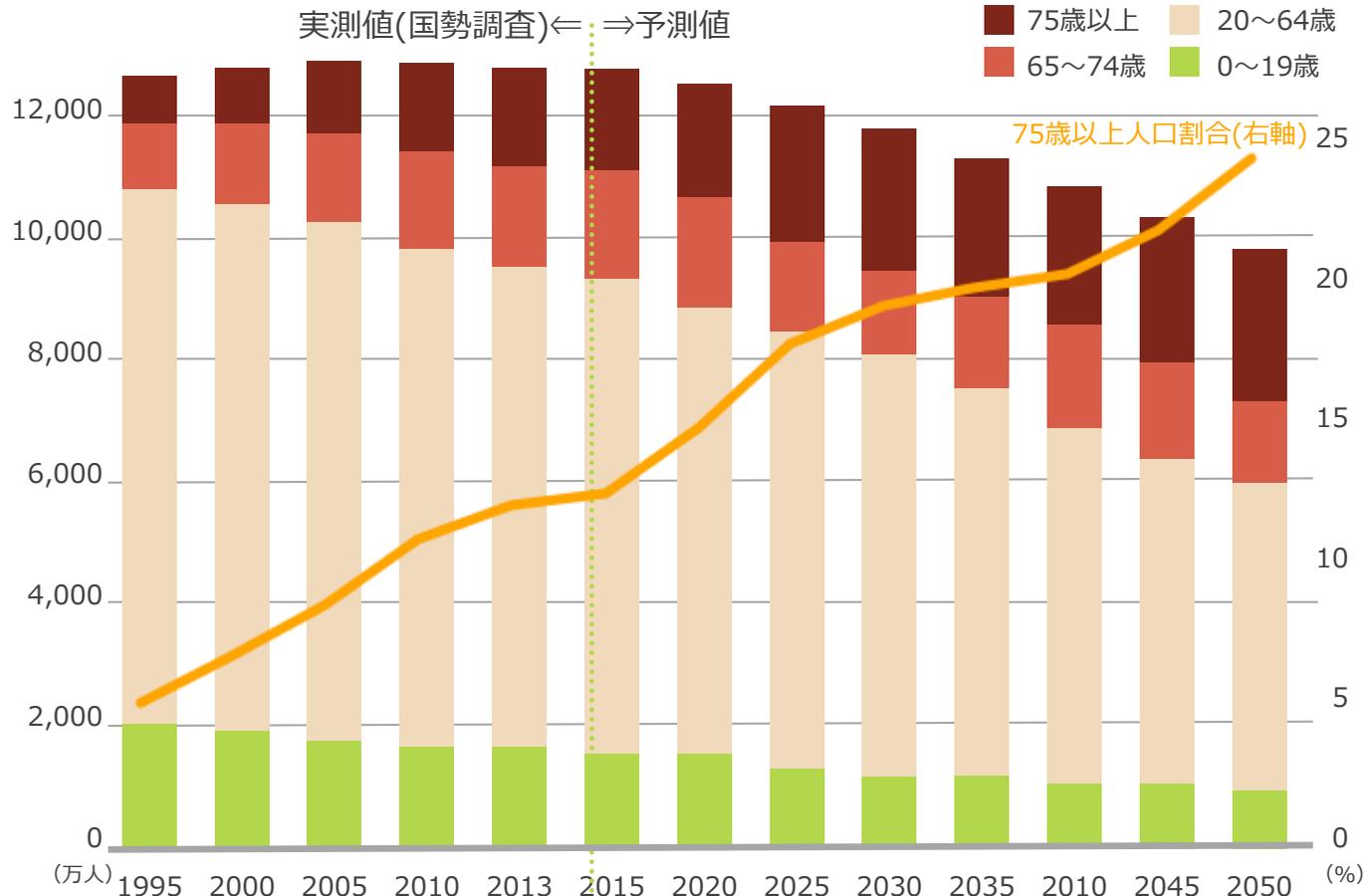
75歳以上になると要介護の認定を受ける人の割合が大きく上昇する。今後、日本の総人口が減少に転じていくなか、高齢者（特に75歳以上の高齢者）の占める割合は増加していくことが想定されている。2025年に団塊の世代が75歳となり、社会保障給付費は2012年度の109.5兆円(GDP比22.8%)から2025年度の148.9兆円(GDP比24.4%)へ増加、さらに、医療介護分の社会保障給付費の将来推計は2012年の43.5兆円から2025年には73.8兆円までに膨らむ見通しとなっている。

要介護等認定の状況

65～74歳	
要支援	要介護
231 (1.4%)	491 (3.0%)
75歳以上	
要支援	要介護
1,357 (8.8%)	3,611 (23.3%)

出典：内閣府 単位：千人

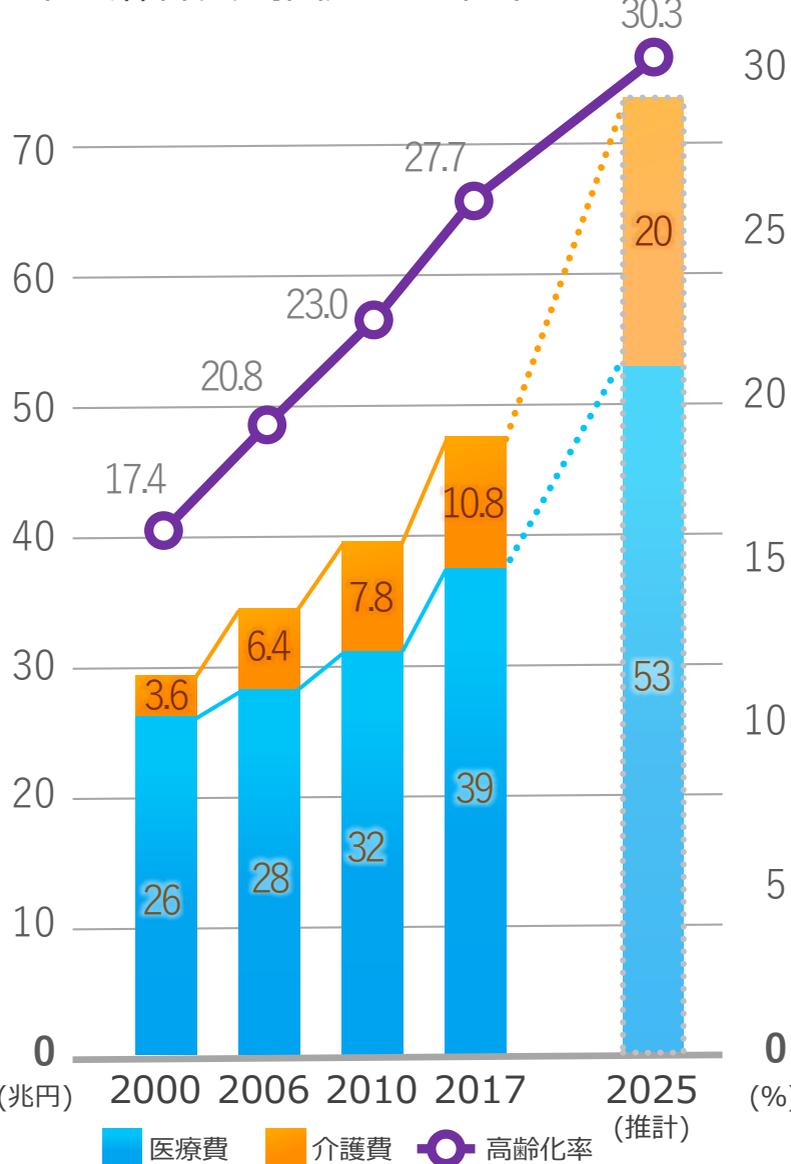
今後の年齢階級別人口の推計



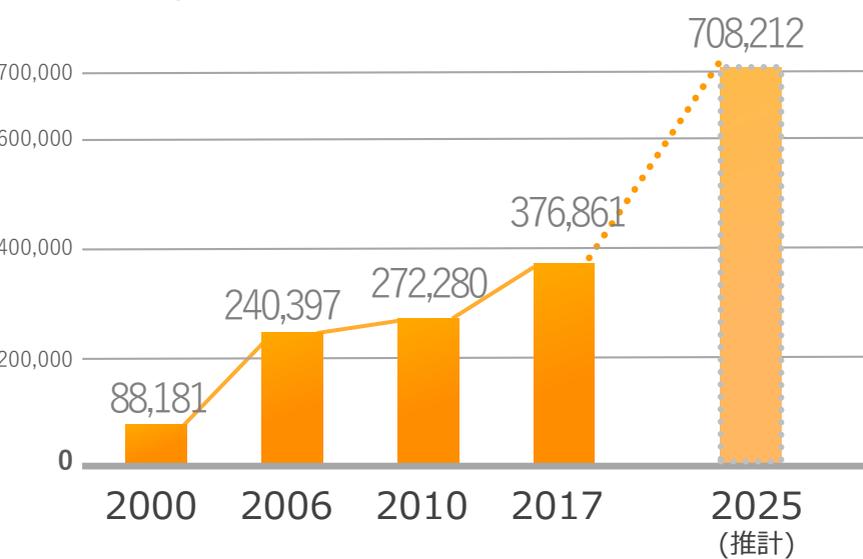
出典：2010年までは総務省、2013年は総務省統計局、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所

3-3.医療・介護業界の市場規模

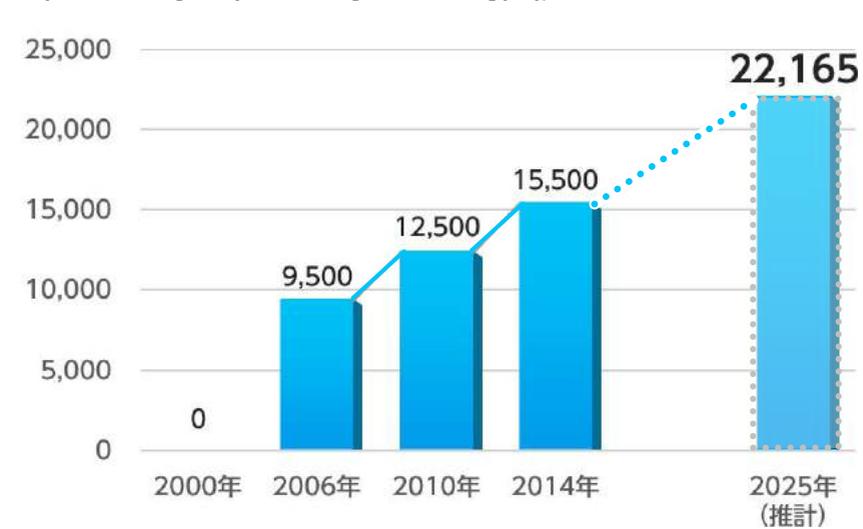
■ 社会保障費の推移と高齢化率



■ 介護事業所数の推移



■ 在宅医療を行う医療機関の推移



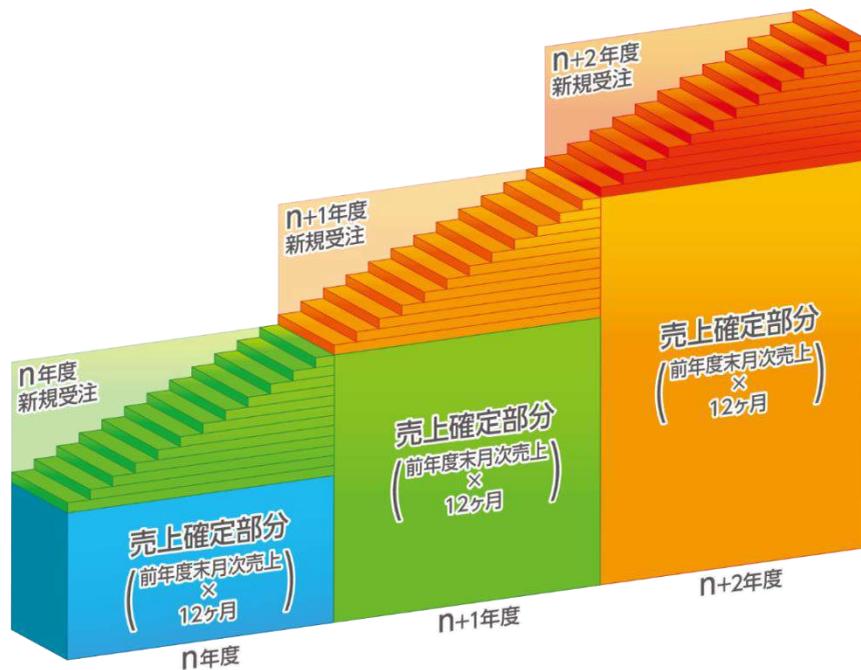
出典：厚生労働省、財務省、内閣府資料よりデータ抜粋してグラフ作成。事業所数の2025年数値は社会保障費から推計

4. 当社の強み

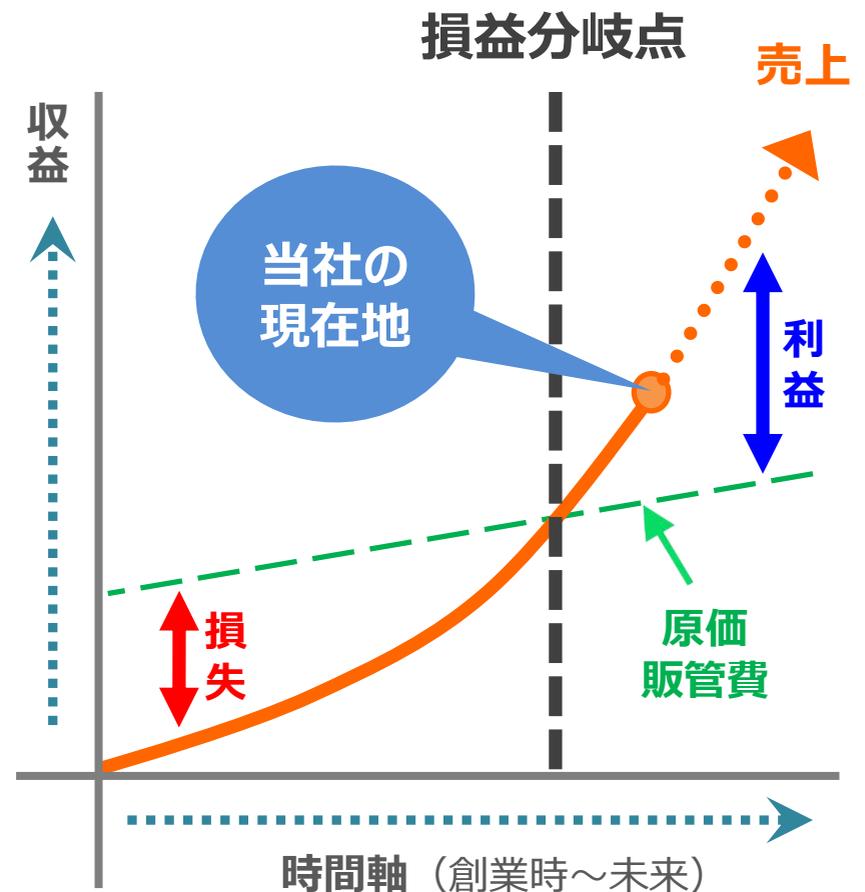
4-1.ストックビジネスの収益構造

現在、クラウドサービスの販売を主軸としておりますので、ストックビジネスであり、在庫等が無く高い収益性を実現しています。

■ストックビジネス



■当社のステージ



4-2. 東京大学と共同研究「柏モデル」(都市型モデル)

弊社の医療介護連携のクラウドは、東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究により開発され、地域包括ケアの柏モデルの中で作り上げられてきました。



研究会が目指すまちの姿について

地域包括ケアシステムを実現させるために・・・

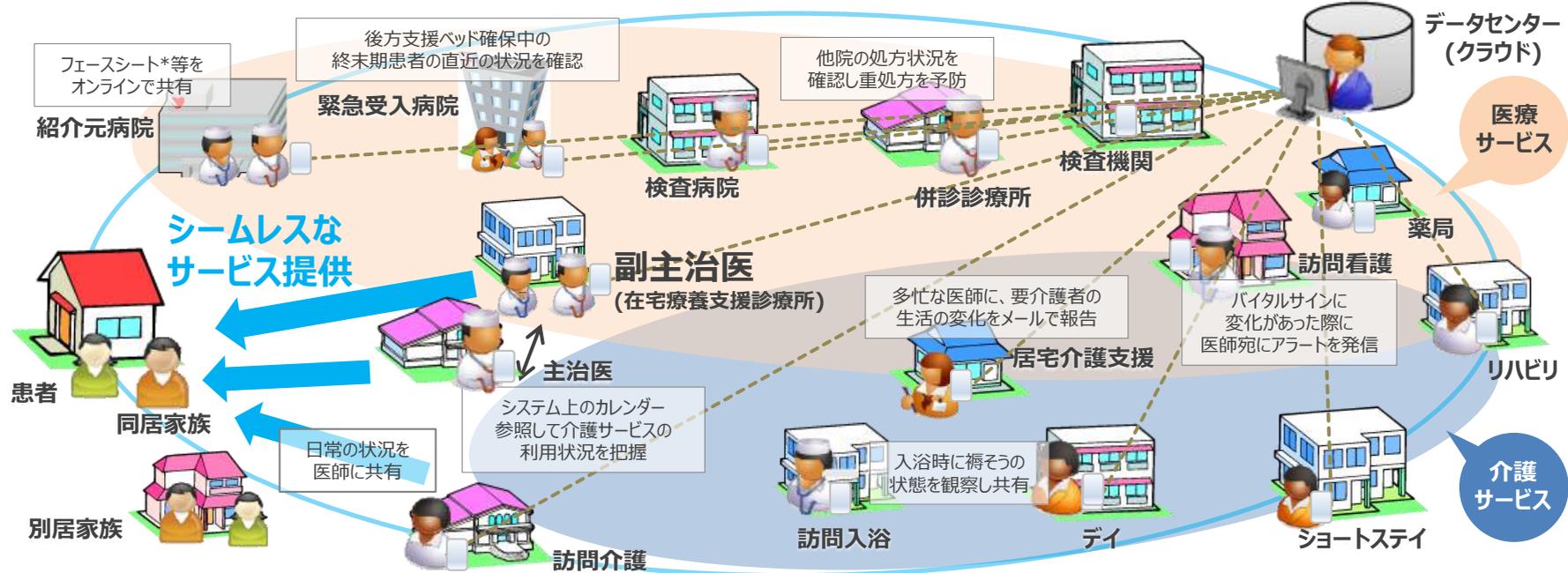
- ① 在宅医療を推進するシステムの構築
- ② 訪問看護の充実(24時間訪問看護の体制整備)
- ③ 介護サービスの充実(24時間短時間・巡回型介護の体制整備)
- ④ サービス付き高齢者向け住宅の整備

高齢者の生きがい就労を実現させるために・・・

- ① 休耕地農業, ミニ野菜工場, 屋上農園
- ② 保育サービスの向上, 子育て支援センターの創設, 子供の居場所の確保
- ③ 生活支援サービス
- ④ コミュニティ食堂及び配食サービスの実施といった地域の食を支えるサービス

情報共有システムの構築

機関やサービス種別を越えた情報共有のシステムを構築し在宅医療・ケアに関わる多職種チーム形成を容易にする

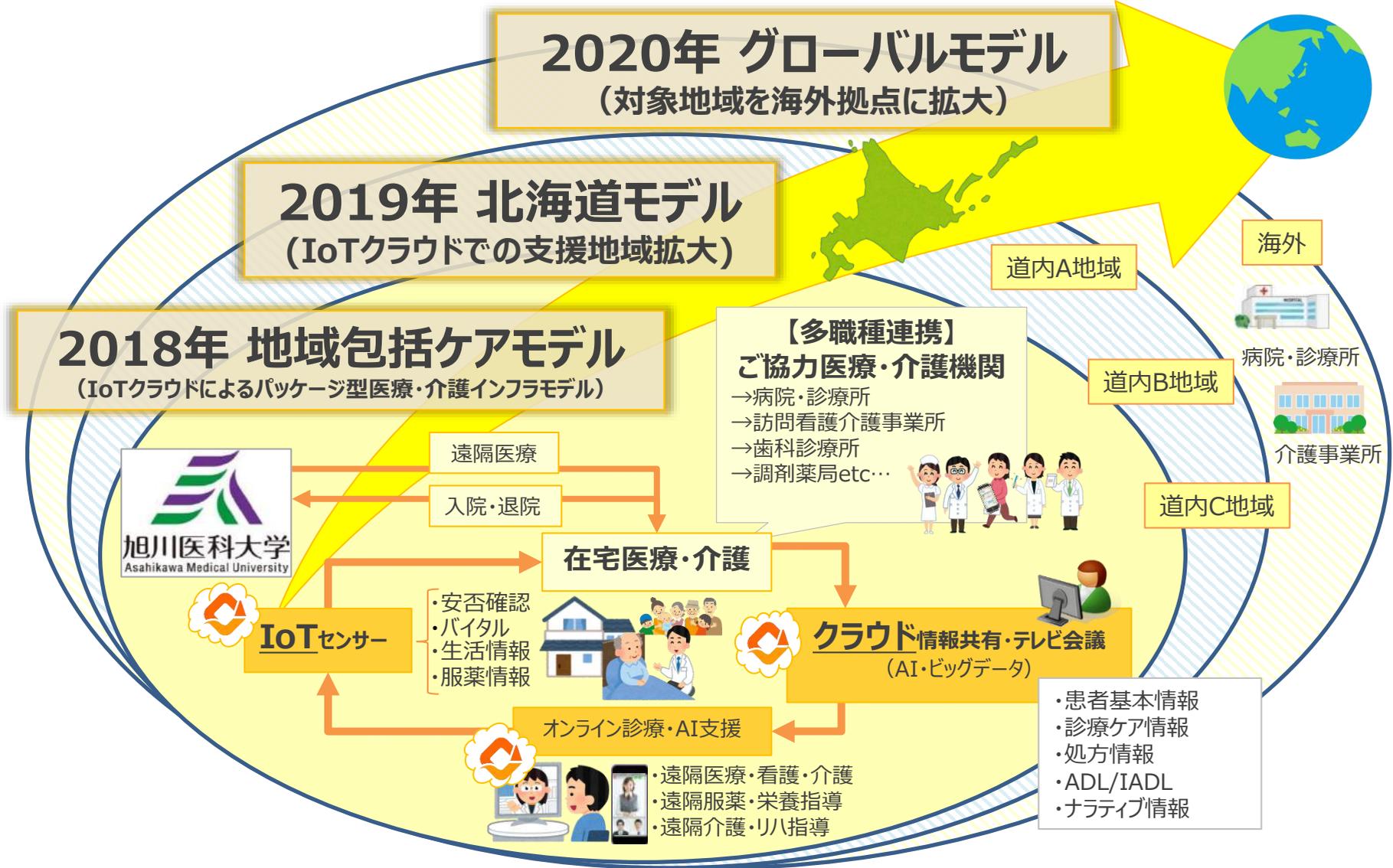


フェイスシートは、千葉県地域生活連携シート等に準拠

出典：柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会「長寿社会のまちづくり」

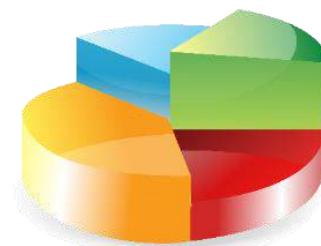
4-3. 旭川医科大学との共同研究（地方型モデル）

国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置し「IoT クラウド利用のグローバルモデル構築」を目指します。当社は、本研究に必要な遠隔医療・看護支援等に関する、新たな情報共有項目や支援システムに関する研究開発の役割等を担います。



4-4.ビッグデータ・IoT

地域連携・業務のビッグデータから、各種分析を行っていきデータを活用し優良な医療介護サービスを支えるAI化を目指す



5.2018年9月期実績と成長戦略



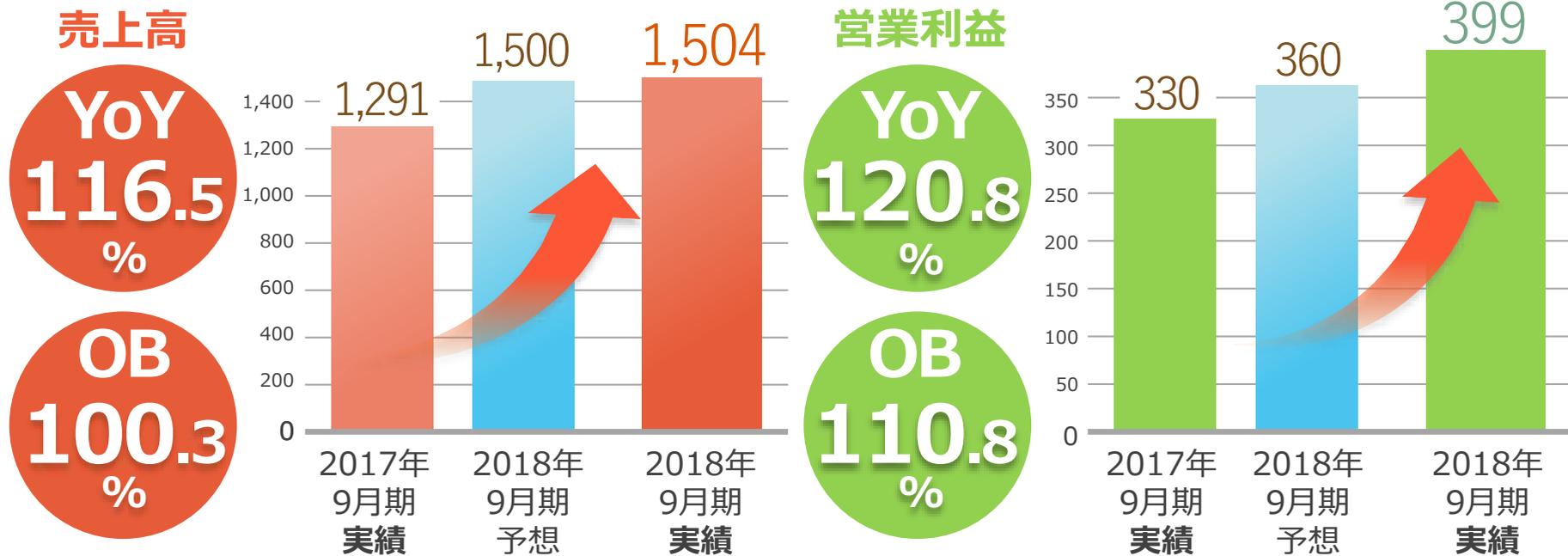
5-1.2018年9月期 実績（東証一部上場）

2018年7月18日発表

2018年7月18日に東証マザーズから東証一部へ市場変更致しました。
介護ソフトを主たる事業とするIT企業では初の東証一部上場です。
これにより、2018年9月期4Qでは、上場関連経費が発生しております。



5-2.2018年9月期 実績



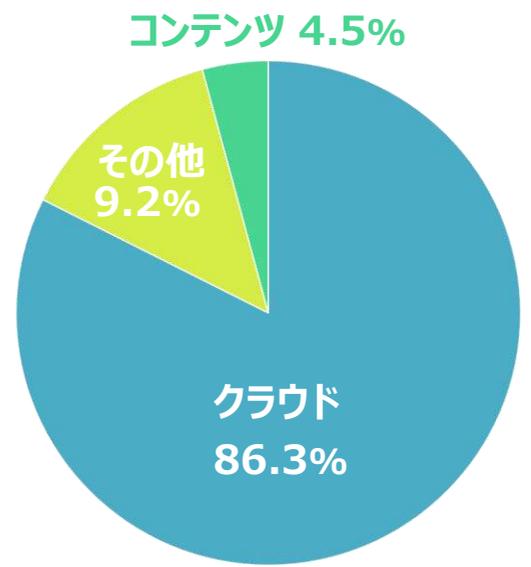
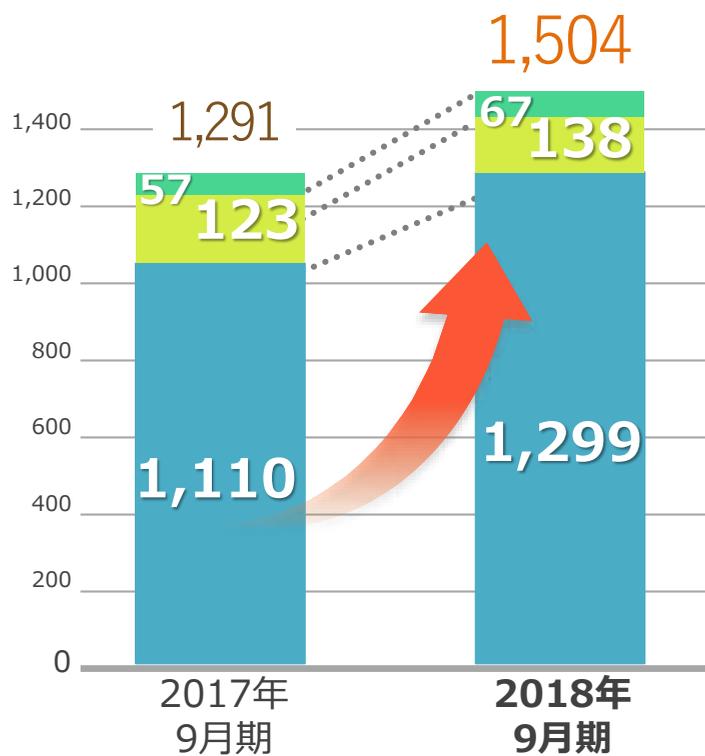
(単位：百万円)

	前年同期	2018年9月期		差異		
	実績金額	予想金額	実績金額	構成比(%)	前年比(%)	達成率(%)
売上高	1,291	1,500	1,504	100.0	116.5	100.3
営業利益	330	360	399	26.5	120.8	110.8
経常利益	330	332	380	25.3	115.2	114.7
当期純利益	223	230	256	17.1	115.0	111.6

1株当たり当期純利益	14.34	16.00
-------------------	-------	--------------

(単位：円)
 ※2018年4月1日に1株を2株に株式分割しており、1株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。

5-3.2018年9月期 実績 (サービス別)

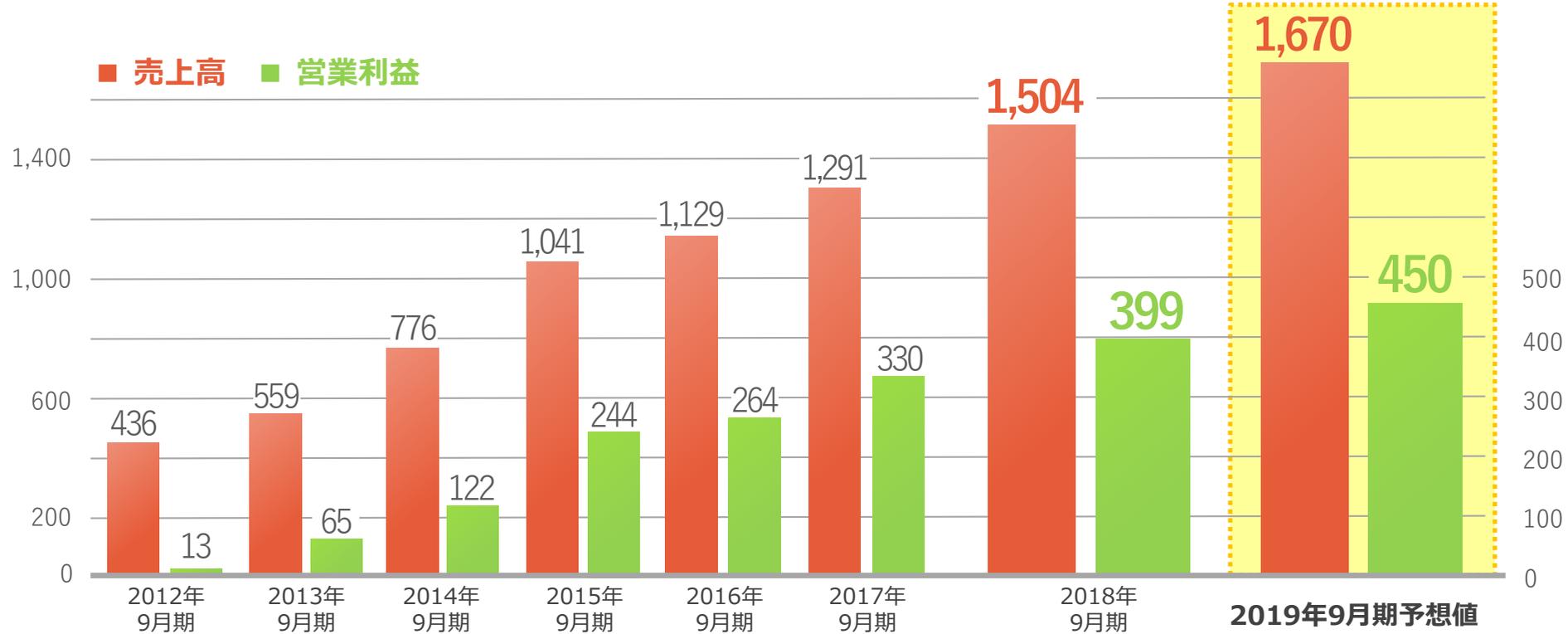


(単位：百万円)

	2017年9月期		2018年9月期		対前年差異	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	前年比(%)
クラウド	1,110	86.0	1,299	86.3	+ 188	117.0
その他	123	9.5	138	9.2	+ 14	112.0
コンテンツ	57	4.5	67	4.5	+ 9	116.3
合計	1,291	100.0	1,504	100.0	+ 212	116.5

5-4.2019年9月期 予想

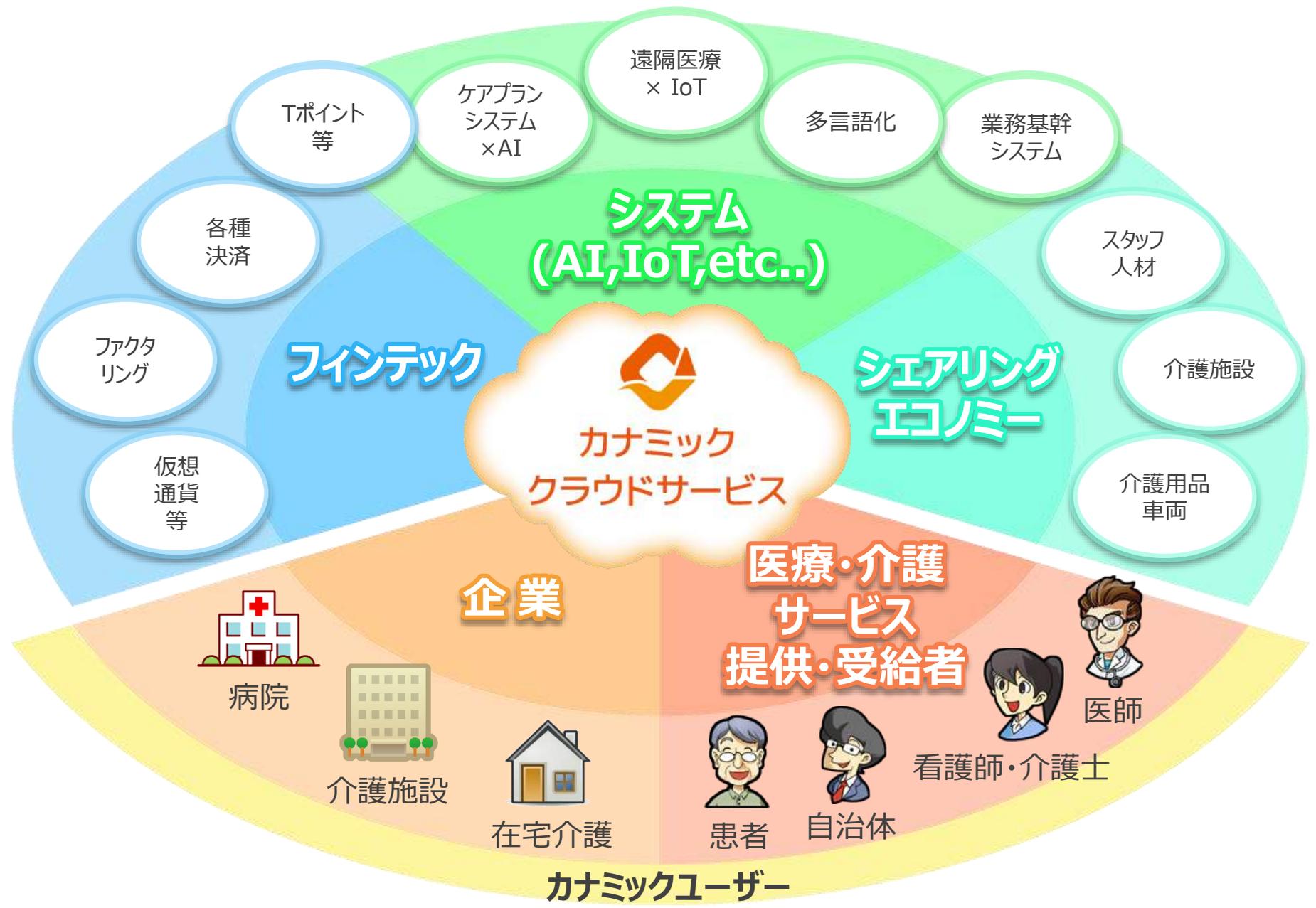
売上高、利益ともに、来期予想値は2桁増を見込む。
 なお、2019年9月期も前期と同様にシステム投資、研究開発、採用などのコスト増を見込んでおり、売上高に対する利益の伸び率は同程度を見込む。



	2018年9月期実績	2019年9月期予想	対予想差異	
	金額	金額	差異	前期比 (%)
売上高	1,504	1,670	+165	111.0
営業利益	399	450	+ 50	112.8
経常利益	380	440	+ 59	115.5
当期純利益	256	290	+ 33	113.0

(単位：百万円)

5-5.成長戦略 –プラットフォーム化– (再掲)



5-6.成長戦略 –プラットフォームIoT連携–

見守り支援システム



PARAMOUNT BED

人感見守りセンサー



NIEEHA

エアコンみまもりサービス



Panasonic

ワイヤレスコールシステム



ジーコム株式会社
株式会社レオン

ビーコンみまもり

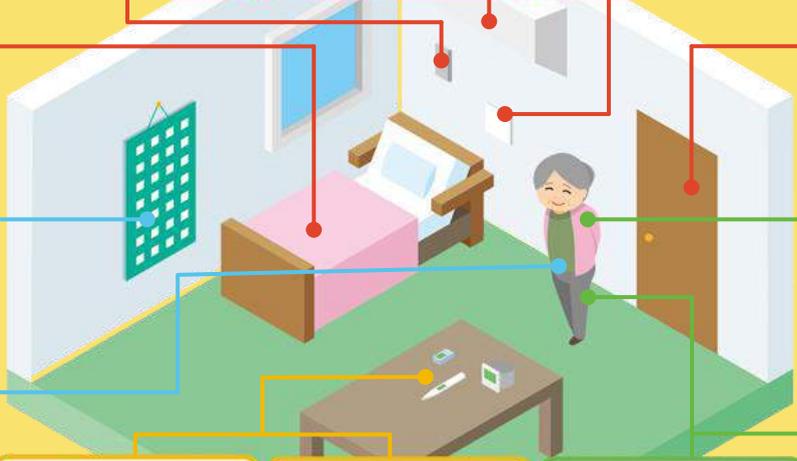


NAKAYO

服薬管理カレンダー



DNP 大日本印刷



ウェア型バイタルセンサー



MITSUFUJI

排泄予知ウェアラブル



トリプルダブリュージャパン株式会社

血圧計・体温計・オキシメータ



NISSEI 日本精密測器株式会社

血圧計・体温計・オキシメータ



TERUMO

生活習慣改善支援サービス



京セラ株式会社

ウェアラブル活動量デバイス



日本予防医学協会

睡眠・みまもり

睡眠の時間や質、目覚め気分、離床、室内温度、湿度、照度、在室有無等を検知

食事・服薬・排泄

排泄(便・尿)に関する時刻や回数、また食事の摂取量やカロリー、食事時間、水分補給、服薬の有無を検知

バイタル

体温、血圧、脈拍、血中酸素飽和度等を測定し、記録へ連動

活動量

移動の方法、時間、頻度、消費カロリー、内臓脂肪等を検知

データ活用連携



カナミッククラウドサービス

自動連動で便利
情報共有が簡単
効率UPで時間短縮

— 実証フィールド —

株式会社 礎  株式会社 リーイ 

学研  Cocolump  介護の長谷川  イリーゼ 

ZENKOUKAI  株式会社 エスケアメイト 

 総務省 平成28年度補正事業
「IoTサービス創出支援事業」
におけるカナミックの取り組み

5-7.成長戦略 –テレビ会議システム–

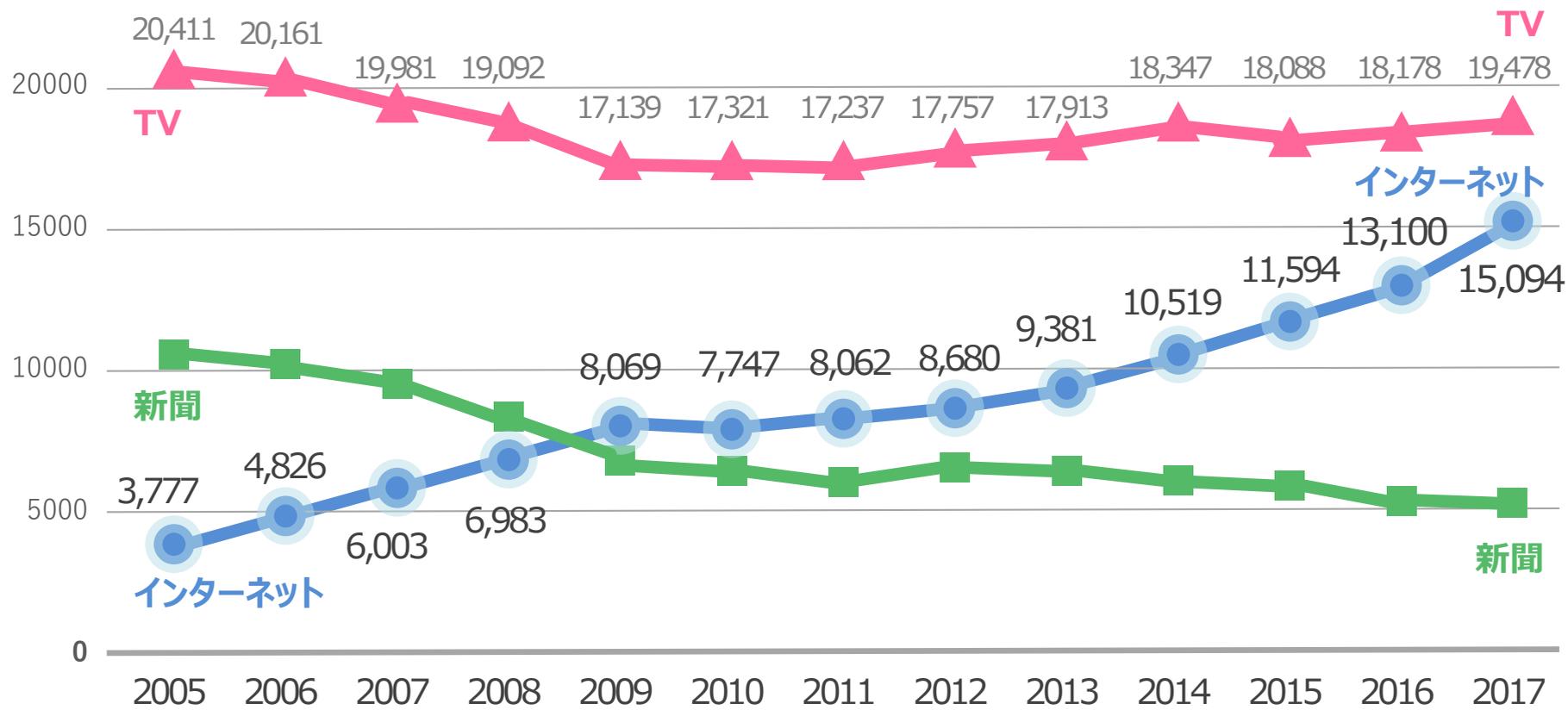
平成30年度介護報酬改定にて
「ICTを活用したリハビリテーション会議への参加」
リハビリテーション会議への医師の参加について、テレビ電話等を活用が推奨された



テレビ会議機能で、よりリアルな多職種連携、遠隔診療やICTを活用した会議にも活用

出典：社保審－介護給付費分科会「平成30年度介護報酬改定の主な事項について」

5-8.成長戦略 –コンテンツ–



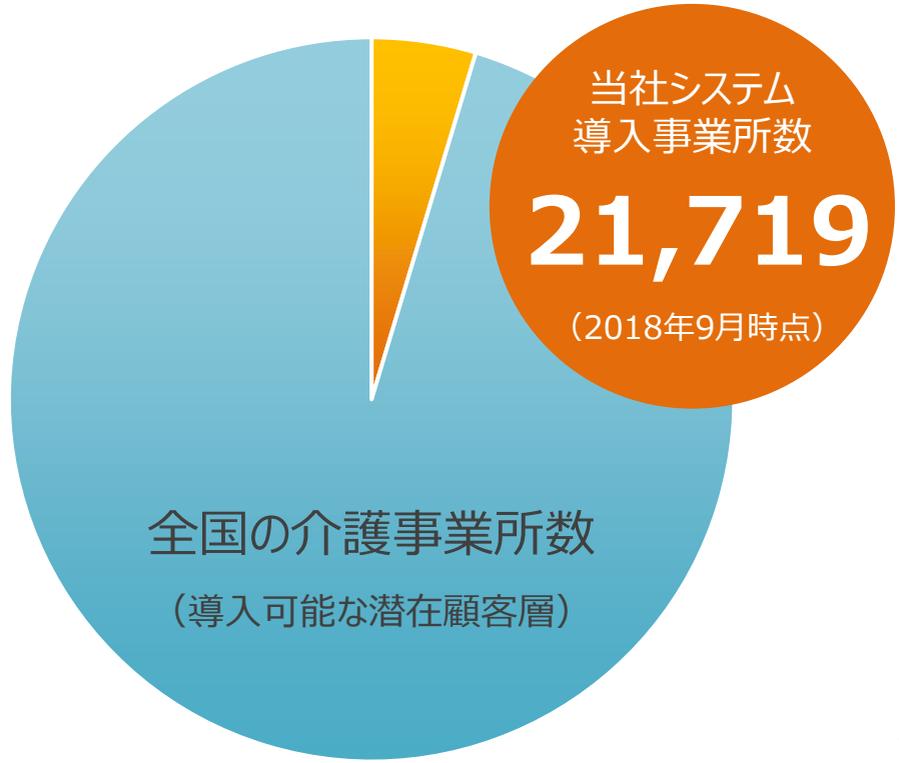
単位：億円 出典：日本の媒体別広告費：(株)電通「日本の広告費2017」

媒体費が初めて1兆円を超えた前年に引き続き、2017年も媒体費は好調に推移しており、生活者のモバイルシフトが進み市場が順調に拡大した。
 また、インターネット広告制作費も前年106.1%と堅調に推移している。

5-9.成長余地

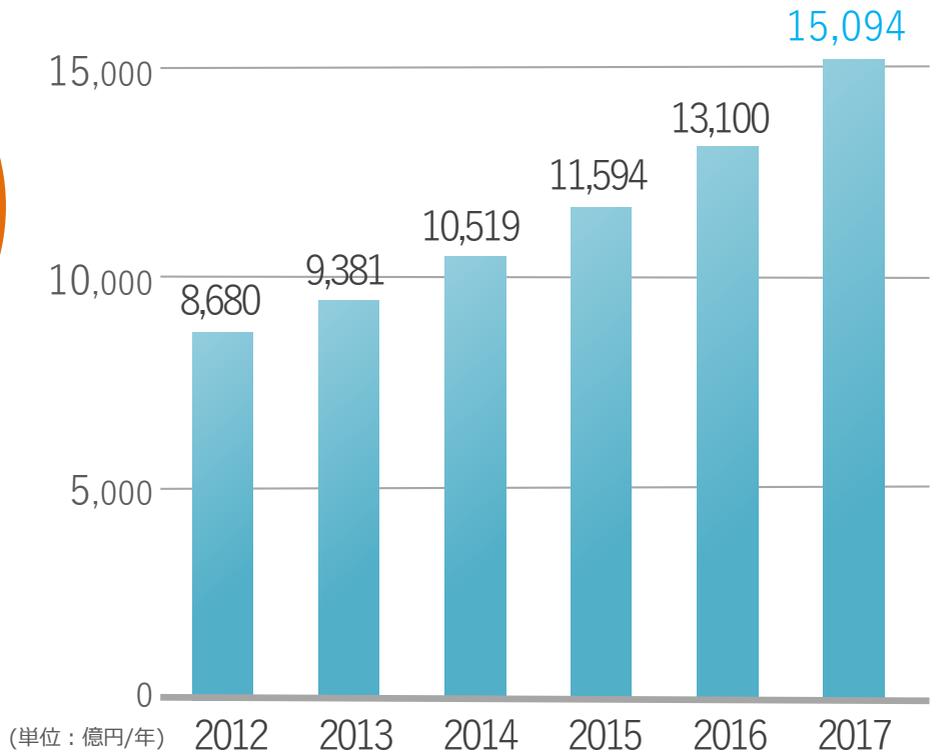
各事業領域に大きな成長余地

業務システムの成長余地イメージ



当社の導入先は全国の介護事業所の約5%です。

インターネット広告費推移

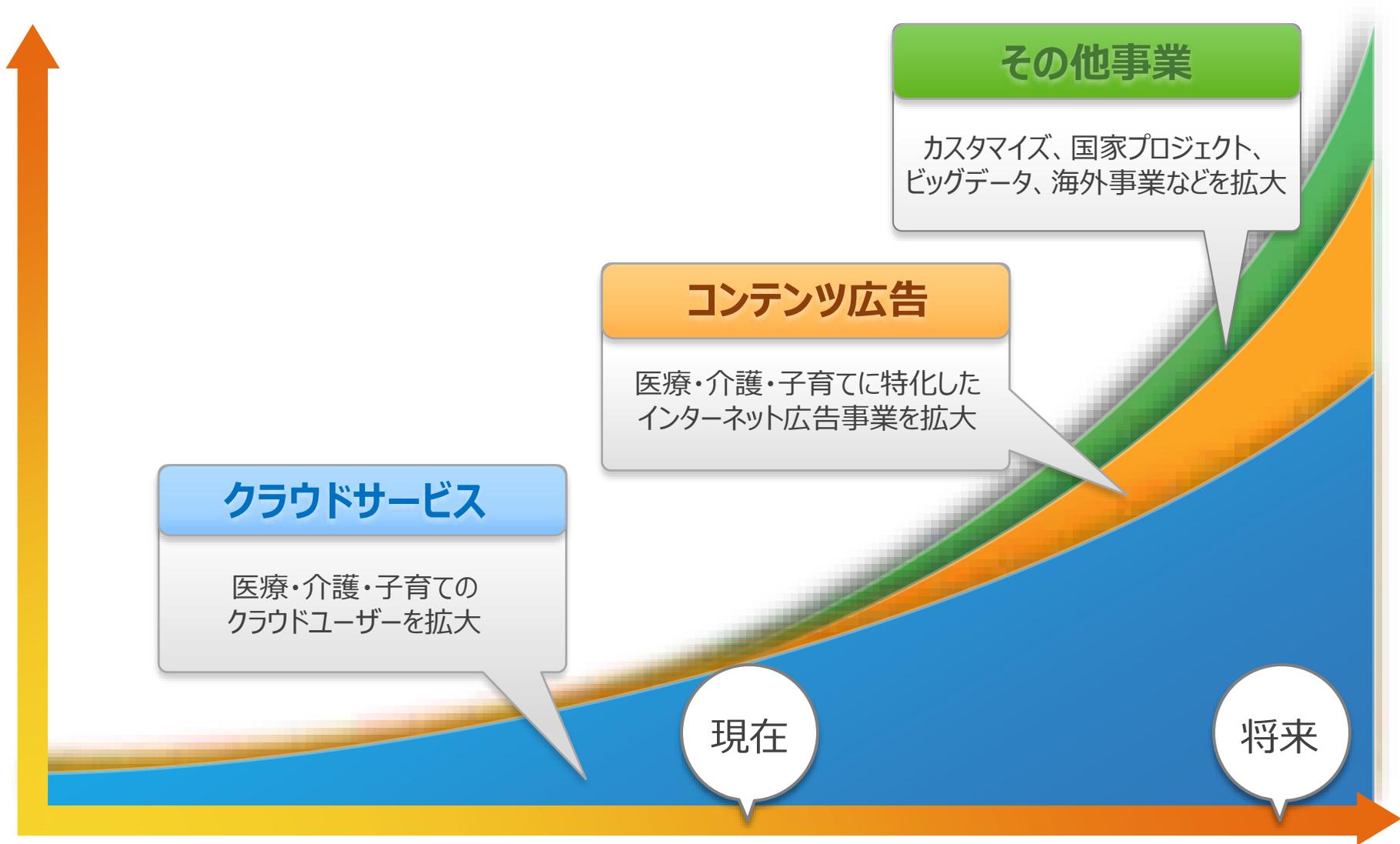


出典：株式会社電通「2017年 日本の広告費」

企業がインターネット広告に
かける費用は年々増加傾向です。

5-10.成長のイメージ (売上構成の変化)

カナミッククラウドサービスの各種サービスが相乗効果を出しながら成長



6.事業TOPICS

一般社団法人日本経済団体連合会 入会



2018年9月25日付けで、一般社団法人日本経済団体連合会（以下経団連）への入会が承認されましたので、お知らせいたします。

当社は、子育てに始まり介護にいたるまでの人の幸せを支えるクラウド技術の提供を通じ、当社の経営理念である「超高齢社会の地域包括ケアをクラウドで支える」ことの実現に向けて活動を行ってまいりました。

このたびの経団連への入会を機に、「企業と企業を支える個人や地域の活力を引き出し、日本経済の自律的な発展と国民生活の向上に寄与する」という経団連の使命に貢献すべく、積極的に活動してまいります。

在宅医療と介護がテーマの感動のリアリティ映画 『ピア～まちをつなぐもの～』に特別協賛します



若手医師とベテランケアマネジャーの二人の成長物語を中心に、医療介護関係の多職種や地域住民、行政がチームとして連携しながら、在宅医療と介護、看取りに懸命に取り組む姿を描く映画です。

本作品のテーマである「在宅介護・医療」と「多職種連携」は、当社と撮影協力に参加している柏市在宅医療・介護多職種連携協議会が推進している「地域包括ケア」実現に重要な役割を担っており、作品を通じて多くの方に地域包括ケアの必要性を知っていただきたいという思いから協賛をさせていただきました。

6-3.東証一部上場（再掲）

2018年7月18日発表

2016年9月14日に東証マザーズ上場。

2018年7月18日に東証一部へ市場変更。

介護ソフトを主たる事業とするIT企業で初の東証一部上場です。



当社株式への投資魅力を高め、
当社株式をより多くの方に保有していただくことを目的として
抽選式の株主優待制度を導入いたします。

優待① 本年度

毎年9月30日現在の株主名簿に
記載された100株以上を保有
の株主様

抽選で**10**名様に
20万円相当の**旅行券**贈呈

優待② 次年度以降追加

直近の期末株主名簿から100株以上
を1年以上継続して保有(期末・中間株主名
簿に同一の株主番号で連続3回以上記載)の株主様

抽選で**3**名様に
20万円相当の**旅行券**贈呈

W
チャンス

抽選につきましては、定時株主総会終了後に実施する抽選会において、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行立合いのもと、厳正な抽選を行います。また、抽選の結果は当選された株主様の株主番号等を当社ホームページにてお知らせいたします。贈呈時期は毎年1月中旬頃の発送を予定しております。

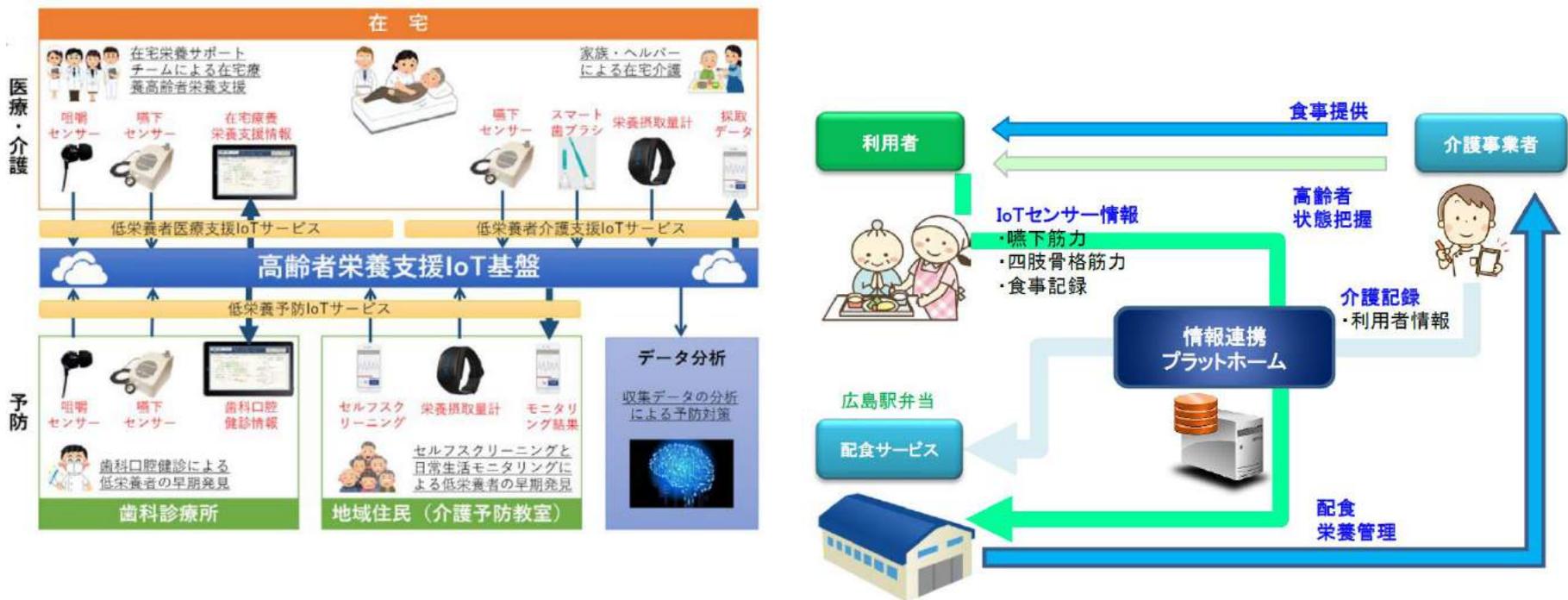
※株主番号は全株を売却された後に新たに購入された場合は、新しい株主番号に変わりますのでご注意願います。

※次年度は、平成31年9月30日時点の株主名簿に記載または記録され100株以上保有の株主様より実施いたします。なお②は、平成30年9月30日、平成31年3月31日、及び平成31年9月30日の全ての基準日における株主名簿に同一株主番号で記録または記載された株主様が対象となります。

6-5. 総務省プロジェクトに参加

2018年6月20日発表

総務省「平成30年度予算IoTサービス創出支援事業」に参加



総務省が実施する「平成30年度予算IoTサービス創出支援事業」に係る委託先候補に選定された広島駅弁当株式会社の事業におけるコンソーシアムメンバーとして参加することとなりました。

「栄養状態やフレイル状態をIoT体組成センサーや摂取食事の記録システムで把握し、配食サービスにつなげる等、高齢者一人ひとりに最適な支援を実施する」事業で医療・福祉分野におけるIoTの普及・促進と医療・介護事業者における生産性の向上に、より一層寄与して参るとともに、昨年度当社が実施した「IoTサービス創出支援事業」の成果も活用し、さらに高い効果を生み出す取組を実施いたします。

【参加団体】広島駅弁当(株)、広島県、広島市、広島大学病院、(株)カナミックネットワーク

6-6.香川県丸亀市が子育て支援を導入

2018年5月31日発表

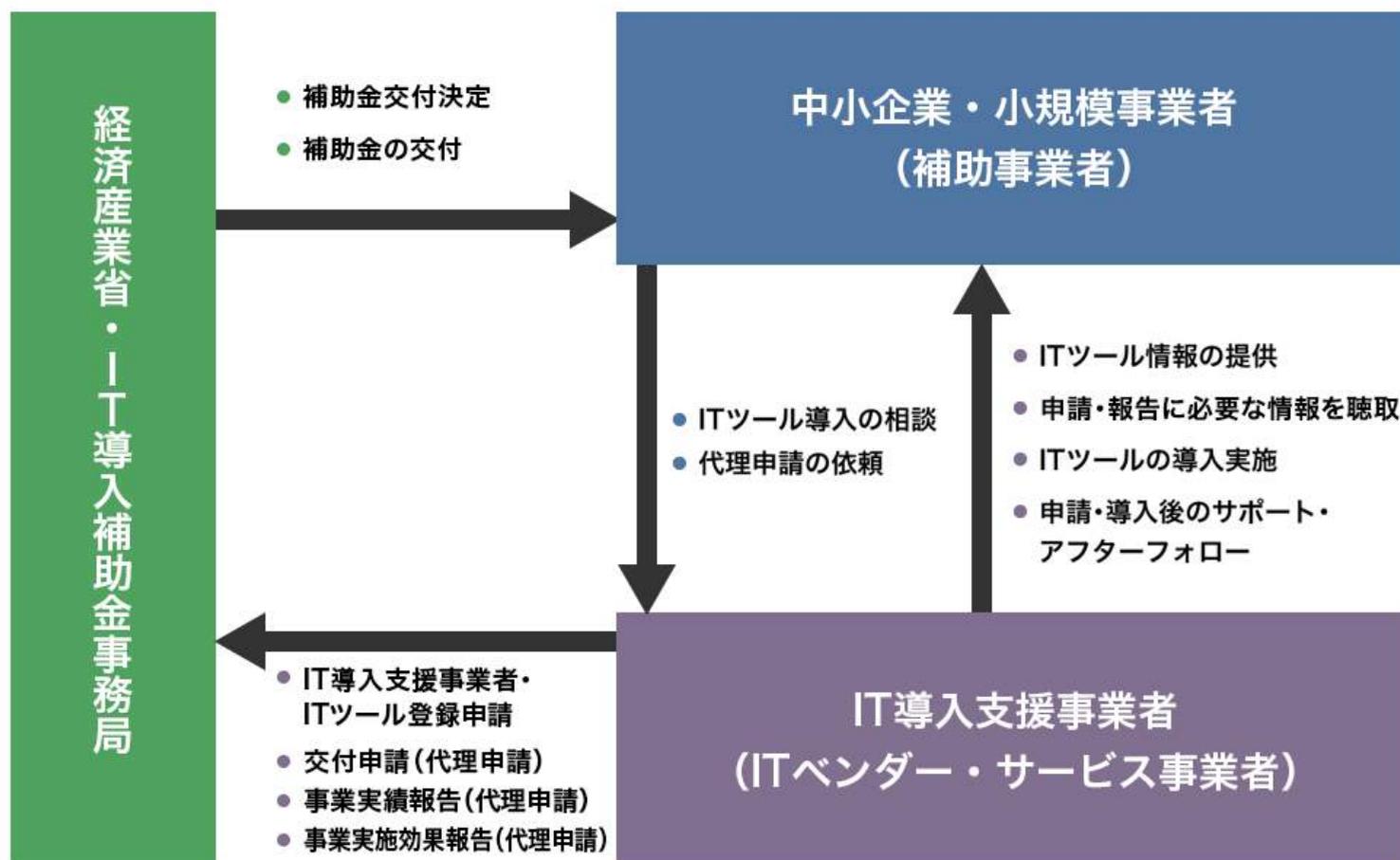
香川県丸亀市が子育て支援でカナミックを導入 子育て世帯ニーズを行政に反映させるシステム構築へ



(丸亀市 梶市長)

市が行ったアンケート調査で、多くの子育て世帯が子育てについての不安や悩みをもっている一方で、相談機関の認知度や利用経験が低いことが課題となっていました。育児を行う保護者が孤立しないよう相談支援体制を拡充するとともに、必要な情報をすべての子育て家庭に伝えることができるよう、情報提供機能の強化に取り組みの一環として、クラウドを使った子育て情報の共有や成長記録など子育て世帯に役に立つ「子育てアプリ」と、子育てについての相談を集約する「子育て業務支援システム」を導入することになりました。

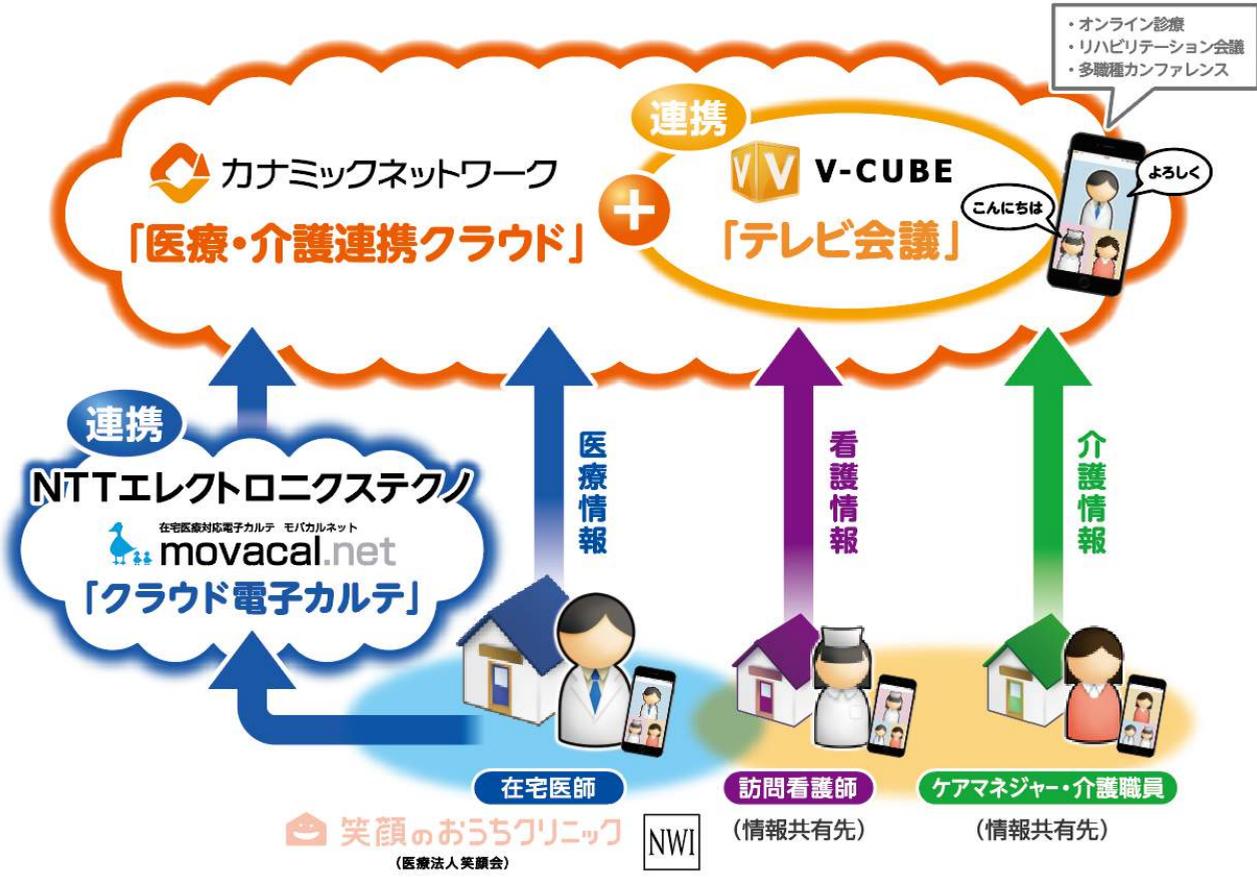
経済産業省「サービス等生産性向上IT導入支援事業」 IT導入支援事業者に認定



6-8.電子カルテとテレビ会議システム連携

2018年4月18日発表

電子カルテとテレビ会議システムを連携させた多職種連携を開始



当社のクラウド型医療・介護連携システム「カナミッククラウドサービス」とNTTエレクトロニクステクノのクラウド型在宅医療対応電子カルテ「モバカルネット」、ブイキューブの子会社で株式会社アイスタディが提供する「Agora.io Video SDK」の3つのクラウドサービスがシステム連携する事によって在宅医療における効率的な多職種・多法人連携を実現し先進的な地域包括ケアシステム構築を進めていきます。

6-9.多言語対応の介護記録システム

2018年4月2日発表

多言語対応のタブレット型「介護記録システム」をリリース

日本語、英語、中国語、ベトナム語、ビルマ語（ミャンマー）に対応



平成 29 年 11 月 1 日より「外国人の技術実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」の施行にあわせ、外国人技能実習制度の対象職種に介護職が追加され、外国人の介護スタッフが増加していくことが想定されます。当社の多言語対応「介護記録システム」の活用で、日本人でも外国人でも、国籍を問わず標準化・共通化した介護記録の運用が実現できます。

国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置



国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置し「IoT クラウド利用のグローバルモデル構築」を目指します。当社は、本研究に必要な遠隔医療・看護支援等に関する、新たな情報共有項目や支援システムに関する研究開発の役割等を担います。

6-11. 株式分割を実施

2018年3月6日発表

投資家層の拡大と当社株式の流動性向上を図るため
2016年11月普通株式1株を2株、
2017年8月普通株式1株を3株、
2018年4月普通株式1株を2株へ株式分割を行いました。

2016年9月期
配当実績



2017年9月期
配当実績



2018年9月期
配当予想



2018年9月期の配当額につきましては2017年9月期と実質同額の配当を予定しております

6-12.施設向けシステムリニューアル

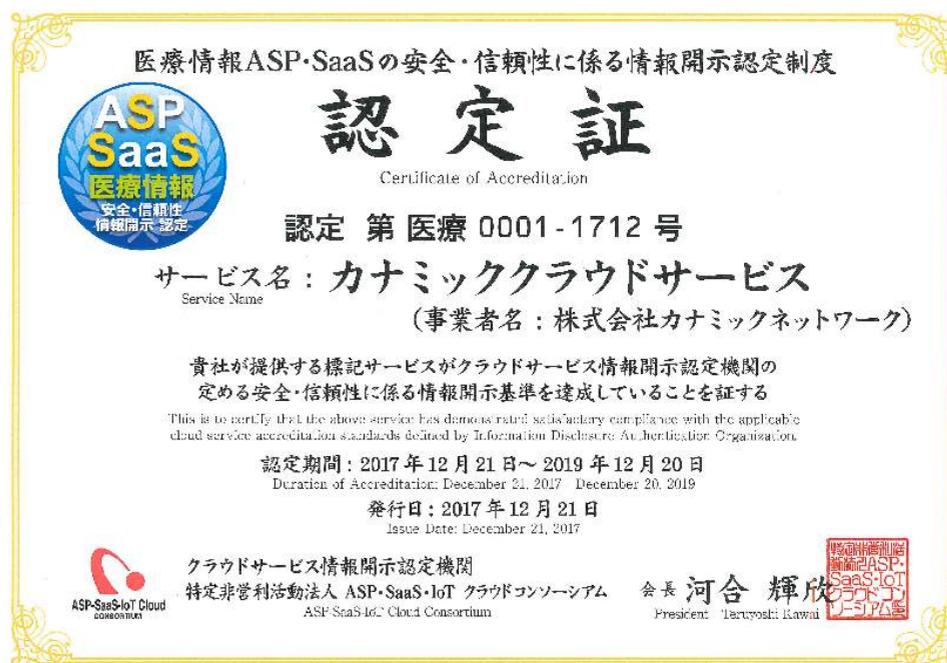
2018年1月19日発表

施設業務全体の効率化をサポートし、ケア品質を向上する 「施設向けシステム」リニューアル



介護施設における「手間」「ミス」「ケア品質の差」を改善するシステムで施設介護業務に必要な機能が網羅的に備わっており、ご利用いただくことにより施設業務全体の効率化を図れます。

「医療情報ASP・SaaSサービス」 新制度の第一号認定取得



認定番号:医療 0001-1712

平成19年に総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」を立上げ、総務省主導のもと、情報開示認定制度の普及推進等を行い、安心安全なクラウドサービスの実現を推進してきた特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムの認定制度。

※今回の認定により「ASP・SaaS情報開示認定制度」から「医療情報ASP・SaaS情報開示認定制度」へ移行いたしました。

6-14. 悠翔会グループと提携

2017年12月5日発表

首都圏最大級の在宅医療機関 悠翔会グループが カナミッククラウドサービス情報共有プラットフォームを導入



約 3,500 人の在宅患者に 24 時間体制で在宅医療を提供する首都圏最大級の在宅医療 悠翔会グループの在宅医療に特化したクラウド型電子カルテシステム「HOMIS」と「カナミッククラウドサービス」とシステム連携させることにより、二重三重の入力をすることなく、効率的な情報共有が実現します。

本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。